



贖罪の日に生きる

目次

1. わたしたちの贖罪の必要	5
2. 犠牲と厳粛な祭り	10
3. 象徴を理解する	15
4. 昇天から最終的な贖罪まで	20
5. 贖罪の日	26
6. 真面目な態度	31
7. かずかずの書物	36
8. 戦い	41
9. 身体的な活力	46
10. 秩序と組織	52
11. 霊的な活力	57
12. 「燃えるたいまつのように」	62
13. 責められるところのない者として印される	67

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.95, No.3

編集&発行:
S D A改革運動日本ミッション

〒368 - 0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX : (0494) 40-1045

URL :
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト : Advent Digital
on the covers, and Google
Maps on pp. 25, 72.

まえがき

わたしたちは現在、贖罪の日の本体に生存しています。それは何を意味するのでしょうか？それは単に専門的な問題でしょうか、あるいは実際に日常生活、将来の計画、そしてわたしたち各人の思考の傾向にまで影響を及ぼすように意図されているのでしょうか。

多くの人々は、生来人間はみな罪人であるということを悟っていません。わたしたちは自己を喜ばせがちであり、わたしたちの幸福のために愛をもって意図された十誡の聖なる道德律を犯す傾向にあります。

それにもかかわらず、「わたしたちがまだ罪人であったときに、神の御子はわたしたちのために死んで下さった。ご自分の王衣と王冠をわきへおき、ご自分の神性に人性をまとして、このお方は罪の奴隷状態からわたしたちを救出するために、わたしたちの状態にまで身をかがめて下さった。わたしたちのために、このお方は貧しくなられた。それはこのお方の貧しさを通して、わたしたちが富んだ者となることができるようであった。この方は人類の頭としてご自分の立場を取られるために、この地上に來られた。わたしたちに代わって、このお方は神の正義の打撃に耐えられた。」(オーストラリア・ユニオン会議記録 1901 年 4 月 1 日)

「キリストは天の聖所におられる。そして、このお方はそこで民のために贖罪をなすためにおられる。この方はそこでご自分の傷ついた脇腹と刺し通された両手をご自分の御父に差し出しておられる。このお方はそこで、この地上にいるご自分の教会のために嘆願しておられる。このお方は民の罪から聖所を清めておられる。わたしたちの働きは何であろうか？キリストの働きに調和すること、これがわたしたちの働きである。信仰によって、わたしたちはこのお方と働き、このお方と一致していなければならない。

全天はこの世界で進行中の働きに関心を持っている。民は神の大いなる日のために準備ができていなければならない。その日はまさにわたしたちに臨もうとしている。そしてわたしたちは自分の道にサタンが自分の影を落とすことを許したり、イエスとこのお方の無限の愛を見るわたしたちの視界をささげさせたりするわけにはいかない。わたしたちは自分のまさに必要としている助けをキリストから引き出すべきである。」(ビュー・アンド・ワード 1890 年 1 月 28 日)

「キリストは、わたしたちの身代わりであると同時に保証人となることを約束しておられて、どんな人でもおろそかになさらない。主は人類が永遠の滅びにおちいろうとしているのを見るに忍びず、人類のために死に至るまでご自分の魂を注ぎ出されたのである。主は、自己をみずから救うことができないことを認めたすべての魂にあわれみと同情をよせられるのである。

主はおののきつつ嘆願する者を、必ず助け起こしてください。主は、贖罪によって、つぎることのない道德的能力をわたしたちのために備えてくださったから、必ずこの力をわたしたちのために用いてください。主は、わたしたちを愛しておられるから、わたしたちは、罪も悲しみもともに主の足もとにおけばよい。イエスのお顔のどの表情も またどのことばもすべて主に対する信頼を起こさせる。主はみ心のままにわたしたちの品性をお造りになる。」(キリストの実物教訓 136, 137)

わたしたちがこれから 3 ヶ月これらの教訓を研究するとき、御霊にまったくその通りにしていただくことによって、このお方に協力するのでしょうか？

世界総会安息日学校支部

第一献金 ネバダ州ラスベガスの礼拝堂のために (アメリカ合衆国)

アメリカ合衆国のネバダ州ラスベガスは、主にギャンブル、ショッピング、美食、娯楽、そして夜の生活でよく知られた国際的に有名な大リゾート都市です。世界の娯楽の首都として言及され、巨大なカジノホテルやそれに伴う活動で、第一の観光目的地で有名です。都市の人口は 1990 年代には 85.2% 増え、急速に成長し続けています。2013 年の概算では 603,488 人、地域の人口は 2,027,828 人です。

「世界的に有名な健康リゾートや観光輸送の中心地には、健康と娯楽を追い求める幾千もの人々がつめかける。そこには群衆の注意を引きつけることができるような牧師や文書伝道者が駐在すべきである。これらの働き人はこの時代のためのメッセージを提示する自分たちの機会を見張っていよう。」(福音宣伝者 352)

2013 年に上記の言葉に鼓舞されて、世界総会は不可能だと思われた使命—ラスベガスに教会を開くこと—to 投資しました。青年たちは二週間うむことなく真昼の暑さの中を戸別訪問し、文書伝道し、医事専門家が健康セミナーを開催し、伝道者たちが預言のセミナーを通して大胆に現代の真理を主張しました。この都市は主に夜の生活で知られているため、地元の仕事は夜間に行い、昼間は寝ます。ですから、夕方の伝道集会にはほんのわずかな人しか出席しませんでした。しかし、来た人々は非常に大きな関心を示し、個人訪問と聖書研究のために記名しました。様々な地域からそこへ出張した牧師たちによる訪問や聖書研究を 4 年続けたあと、神の恵みにより、求道者の家族の数が驚くほど増えて、彼らが一生懸命働いて得た金銭を自分たちの都市の伝道の働きを支援するために投資しました。彼らの自己犠牲は、伝道者とその妻がラスベガスに移住し、2013 年 5 月に聖書を学ぶ 19 名の生徒がバプテスマを受けたときに報われました。

今日、ラスベガスにある教会は成長し続け、兄弟たちは犠牲を払い続けています。しかし、彼らはさらに伝道し、拡張したいと願っています。彼らは自分たち自身の教会を購入もしくは建設するために一円をも節約していますが、なお世界中の兄弟たちにも貢献してもらう必要があります。今、この第一安息日献金へ向けて、皆さんの惜しみない支援を示して下さいようお願いします。ありがとうございます！

—ラスベガスから皆さんの兄弟姉妹より



わたしたちの贖罪の必要

「わたしたちは、今や和解（贖罪）を得させて下さったわたしたちの主イエス・キリストによって、神を喜ぶのである。」（ローマ 5:11）

「カルバリーの十字架は、神のおきてを犯した罪をあがなうため払わなければならなかった驚くべき犠牲の記念碑として立っている。」（キリストへの道 39）

参考文献： キリストへの道 22-44

日曜日

9月29日

1. 完全な始まり

- a. 神がもともと人類の最初の人であるアダムとエバに授けられた霊的な状態を述べなさい（創世記 1:27, 31）。

「輝かしいエデンの園には罪のかげや衰えのきざしは少しもなかった。神の使いはこの清らかな夫婦と自由に、やさしく話し合った。楽しい小鳥たちは彼らの造り主に向かって自由な、喜びに満ちあふれた賛美の歌をうたった。おだやかな動物たちはアダムとエバのまわりで楽しく無邪気にたわむれ、彼らのいうことに従順に従った。アダムは完全な人間で、創造主の最も高貴な作品であった。

造り主と彼らの間にはひとすじの影もさしていなかった。彼らは神を彼らの恵み深い父として知っていた。彼らの意志はすべてのことにおいて神のみことと一致していた。神のご品性はアダムの品性の中に反映していた。」（アドベンチスト・ホーム 17）

- b. 何がエデンの生活を喜ばしい報いのあるものとなりましたか（創世記 1:28; 2:8, 19）。

「エデンの家庭にいたアダムとエバにとって、自然界は、神の知識に満ち、神の教訓にあふれたものであった。知恵は、彼らの目からはいつて、心にたくわえられた。彼らは、神の創造されたものによって、神と交わった。」（キリストの実物教訓 2）

2. 損なわれた完全

a. エデンにおける幸せな喜びを、何が損ないましたか（創世記 2:16, 17; 3:6）。

「アダムとエバは、禁断の木の実を食べるということは、ほんの小さいことであるから、神が宣告したもうたような恐ろしい結果とはなりえないと、自ら思い込んだ。しかしこの小さいことは神の変ることのないきよいおきての違反であり、人を神から引き離し…たのである。」（キリストへの道 38, 39）

b. この問題は、わたしたちの地球全体に、どのように影響を及ぼしましたか（ローマ 8:22）。

「禁じられた実を食べるという問題」は、死の洪水の門を開き、この世に言い尽されぬ災をもたらした。それ以来いつの代にも、嘆き、悲しみの声が地より上がり、すべての被造物が人間の不従順の結果うめき苦しんできた。天そのものさえ、人間の神への反逆の結果を感じた。」（同上 39）

c. 生来の人間の心を墮落させるために、反逆の種が入ってきて以来、わたしたち人類の傾向について、何を自覚しなければなりませんか（伝道の書 7:29）。

「罪は小さいものであると考えてはならないのである。

どんな罪の行為でも、また、キリストの恵みをおろそかにし拒んだりするどんな行為でも、その一つ一つが自分にまたかえってくる。そして心はかたくなになり、意志の力は衰え、理解力はまひし、ますます神のみたまの優しいさやきに従わないようになるばかりでなく、従うことができないようになっていく。

しかし、世の中には、悪い行為を変えようと思えばいつでもできる、また、あわれみの招待を軽んじながら、なお、聖霊の声に耳を傾けることはいつでもできると思って、良心の苛責をしずめようとしている人々がたくさんいる。彼らは、恵みのみたまを侮り、悪魔にくみしていても、いよいよ動くに動かれぬ窮地に陥った時には方向を変えることができると思っている。しかし、それはそうたやすくできるものではない。一生涯の経験や教育はすっかり人の品性を形づくってしまったので、その時になって、イエスのみかたちを受けたいと望むものはほとんどいないのである。」（同上 39, 40）

3. 罪の問題

- a. 人類のうちに、また地球全体を通じて存在している危機とについて、聖書はどのように説明していますか（ヨハネ第一 3:4; 1:8）。

「どれほど熱心に自分の最善を尽くすために奮闘していても、『わたしには罪がない』と言える人はだれもいない。」（上を仰いで 53）

「聖書の中に何よりもはっきり教えられていることは、罪が入ってきたことに対して神にはなんの責任もないということ、すなわち神の恵みが独断的にとり去られたり、神の統治に欠陥があったりしてそれが反逆の発生のきっかけになったのではないということである。罪は侵入者であって、その存在については理由をあげることができない。それは神秘的であり、不可解であって、その言いわけをすることは、それを弁護することになる。もし罪の言いわけがあったり、その存在の原因を示すことができたなら、それはもはや罪ではなくなる。罪についての唯一の定義は、神のみ言葉のうちに与えられている定義である。それは『罪は不法である』ということである。すなわち罪は、神の統治の基礎である愛という大法則と戦っている原則が、外にあらわれた結果である。」（各時代の争闘下巻 228）

- b. 人類一人びとりは、どの痛々しい現実と直面しなければなりませんか（ローマ 3:23; イザヤ 1:5, 6）。

「背教の働きは、神の律法のご要求に対する心の密かな反逆のうちに始まる。きよくない願望、不法な野心を心に抱き、それにふけて、不信と闇が魂を神から引き離す。もしわたしたちがこれらの悪に打ち勝たないなら、それらがわたしたちに打ち勝つことになる。」（神の驚くべき恵み 333）

- c. 罪によって生じた正義の欠如を、神はどのようにごらんになりますか。またこのお方の解決法は何ですか（イザヤ 59:15, 16）。

「エデンで、人は高い地位から落ち、不法によって死に支配されるものとなった。天で人類が減びつつあるのをご覧になり、神の同情がかきたてられた。無限の代価を払って、このお方は救出の手段を考案された。…キリストを通してでなければ、違反者にとって希望はなかった。」（教会への証 8 巻 25）

4. 血による贖罪

- a. 神はあらかじめ墮落した人類を救出するために、どの計画を考案しておられましたか。またなぜそれが必要でしたか（ヨブ 33:24; 創世記 3:17-21）。

「神格が人類のための同情でかきたてられた。そして御父、御子、そして聖霊が贖いの計画の実行にご自身を捧げられた。この計画を完全に実行するために、神のひとり子キリストがご自身を罪のための供え物としてお捧げになることが決まった。」（健康に関する勧告 222）

「アダムが罪が不幸と死をもたらしたように、キリストの犠牲は、命と不死をもたらすのであった。」（人類のあけぼの上巻 59）

- b. キリストの犠牲を象徴するために、どの制度が与えられましたか（創世記 4:4; レビ記 17:11）。

「犠牲の供え物は、神が人間のためにお定めになったもので、罪の悔い改めと約束の贖い主への信仰の告白を、いつまでも思い起こさせるものであった。それは、死をもたらすものは罪であるという厳粛な事実を、墮落した人類に印象づけるためであった。アダムにとって、最初の犠牲をささげるとは、非常に心の痛む儀式であった。彼は、神だけが与えることのできる生命を奪うために、手を振り上げなければならなかった。彼が死を見たのはこれが最初であった。もし彼が神に服従していたならば、人間も獣も死ぬことはなかったことを悟った。彼が罪のない犠牲を殺したとき、自分の罪のために、傷のない神の小羊の血を流さなければならないことを考えて、ふるえおののいた。」（同上 61）

「血を流すことがなければ、罪の許しはあり得なかった。そして、〔アダムの子らは、群れの中のういごを犠牲にささげて、約束の贖罪としてのキリストの血への信仰をあらわさなければならなかった。（同上 65, 66）

「神の御子の血はほふられた犠牲の血によって象徴された。そして神は聖なることと俗なることの間のはっきりと区別された概念を保持されるのであった。血は、神の御子の血の注ぎを通してのみ、罪のための贖罪があり得るがゆえに聖なるものであった。」（神の驚くべき恵み 55）

5. 神の備えを感謝

- a. わたしたちのためになされた贖罪について、何を悟るべきですか。またそれにどのように応じるべきですか（ヘブル 9:22; ローマ 5:8-11）。

「イエスはわたしたちのための贖罪の犠牲であられる。わたしたちは自らのために贖罪をなすことはできない。しかし、信仰によってなされた贖罪を受け入れることができる。」（エレケッド・メッセージ 1 巻 321, 322）

「人が十字架に上げられたイエスを見るように引き寄せられるとき、彼は人類の罪深さをはっきり知る。彼は栄光の主を嘲笑し、十字架につけたのは罪であることを悟る。彼は今まで言い表せないほどのやさしさをもって愛されてきたのに、自分の生涯は忘恩と反逆の場面の連続であったことを知る。彼は最良の友なるお方を捨て、天の最も尊い賜物を乱用した。彼は神の御子を自分で再びくぎづけたのである。そしてその傷つき痛められた心をもう一度さし貫いたのである。彼は広く、暗く、深い罪の淵によって、神から隔てられた。彼は絶望感に打ちひしがれて悲しむのである。…

神はわたしたちがキリストのうちに逃げ込むために、彼によって罪の束縛から解放し、神の子らの自由を喜ぶために、わたしたちの罪をあらわしてくださる。真の悔いを抱いて、わたしたちは十字架のもとに来ることができる。そしてそこにわたしたちの重荷をおけば良いのである。」（祝福の山 11,12）

「人類の救いは甚大な事業であり、神性のすべての特性に活動を求めるものである。御父、御子、そして聖霊は、神の子らをお愛するお方を通して、彼らを勝ち得てあまりある者とするとして誓われた。主は恵み深く寛容であって、だれ一人として滅びることを望まれない。このお方はわたしたちが勝利者となれるように力を備えてこられた。」（ビュー・アノド・ヘルド 1903 年 1 月 27 日）

個人的な復習問題

1. エデンの生活様式の最高の特徴のいくつかを挙げなさい。
2. なぜ神は一見小さい方法で、わたしたちの忠誠や献身を試されるのですか。
3. わたしたちの生活における罪のために神や他人を責めるのは、なぜ間違っているのですか。
4. わたしたちのためのキリストの犠牲の深さを述べなさい。
5. わたしはどのように十字架上でイエスによってなされた贖罪に応じるべきですか。

犠牲と厳粛な祭り

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」(ヨハネ 1:29)

「神はイスラエルをえらばれたのだった。神は人々の間に、神の律法について、また救い主をさし示している象徴と預言とについて知識を残すために、イスラエルを召されたのだった。神は、イスラエルが世に対して救いの井戸となるように望まれた。」(各時代の希望上巻 14)

参考文献： 人類のあけぼの下巻 176–187

日曜日

10月6日

1. 象徴された神の小羊

- a. ヘブル人に与えられた神のご計画において、罪を贖うために毎日、何がなされなければなりませんでしたか (出エジプト記 29:38–41)。

「日ごとの務めは、朝夕の燔祭、金の祭壇における香の供え物、及び個人個人の罪のための特別な供え物から成っていた。…

朝に夕に一才の小羊が適当な素祭と共に祭壇で焼かれ、こうして主に対する民族の日々の献身と、キリストのあがないの血に、彼らが絶えず依存していることが象徴されていた。聖所の務めのためにささげられる供え物は『傷のないもの』でなければならないと、神は言明された (出エジプト記 12:5)。祭司たちは、犠牲としてささげられる動物をみなよく調べ、傷があるものは、ことごとく退けなければならない。『傷のない』供え物だけが、『きずも、しみもない小羊』(ペテロ第一 1:9) として、ご自身をおささげになる主の完全な純潔を象徴するものとなることができた。」(人類のあけぼの上巻 414, 415)

「血を流すすべての犠牲において具現化され、一つ一つの儀式において印象づけられた偉大な教訓は、…キリストの血を通してのみ、罪の許しがあるということである。」(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 913)

2. 主に聖なる者

- a. 神の第七日目の安息日は、罪からの救出のための神のご計画を象徴する年ごとの集会とは、どのように区別されていますか（レビ記 23:1-3, 37, 38; コロサイ 2:16, 17; 出エジプト記 20:8-11）。
- b. どの奇跡的な経験が、昔のエジプト、すなわち挑戦的に神を拒んだ反逆的な国家と、ヘブル人を区別しましたか（出エジプト記 12:3-13）。

「ここにイスラエルの子らに要求された働きがあった。これは彼らを試すために、また今にも神が自分たちのために行おうとしておられるこのお方の偉大な救出において、自分たちの行いによってその信仰を示すために、彼らの側で実行しなければならないものであった。神がエジプト人に下そうとしておられた神の大いなる裁きを免れるために、血のしるしが彼らの家になくではならなかった。そして彼らは自らとその子供たちをエジプト人から分離し、共に自分自身の家の中に集まることを要求された。なぜなら、もしだれでもイスラエル人がエジプト人の家の中で見いだされるなら、彼らは滅びの天使の手にかかって倒れることになるからであった。…滅びの天使が人の長子、獣の初子を殺すために、夜に出て行くとき、彼らの家を過ぎ越した。そして自分の家のかもいに血のしるしがあるヘブル人は一人として殺されなかった。」（預言の霊 1 巻 200）

- c. この出来事は、どのように記念されることになりましたか（出エジプト記 12:14; レビ記 23:5）。

「その月の十四日の夕方に、過越の祭りが行なわれた。それは、エジプトの奴隷からの解放を記念するとともに人々を罪から解放する犠牲を予表した厳粛で印象深い儀式であった。」（人類のあけぼの下巻 182）

- d. 過越の祭に続いたのは何ですか（出エジプト記 12:15-20; レビ記 23:6-8）。

3. 収穫の供給者—そして希望

- a. 主にお捧げするどの捧げ物が、このお方を食物一つ一つの神聖な供給者であることを認めましたか（出エジプト記 23:19（上旬）；レビ記 23:9-14）。

「祭りの第二日に、その年の収穫の初穂を神の前にささげなければならなかった。パレスチナでは、大麦が一番早い穀物で、祭りの初めに実り始めていた。祭司は、大麦の穂を神の祭壇の前で揺り動かし、すべての物が神のものであることを認めた。この儀式がすまなければ、作物を集めてはならなかった。」（人類のあけぼの下巻 182）

- b. 第 50 日目には、どの記念が行われましたか（レビ記 23:15-22）。

「初穂をささげてから五十日めは、ペンテコステであった。それは、また、収穫の祭り、または七週の祭りとも呼ばれた。穀類が、食物として備えられたことの感謝の表現として、種を入れて焼いたパンを二つ、神の前にささげた。ペンテコステは、ただ一日だけであったが、その日は、宗教の行事にささげられた。」（同上）

- c. 厳粛にラッパの祭りが到来を告げるのに続いて、どの祭りが、人々に自分たちの罪がもはや思い出されることがないという希望をもたらしましたか（レビ記 23:23-32）。

「年にただ一度だけ、大祭司が、注意深く厳粛に準備してから至聖所に入ることができた。至聖所は、目に見える神の栄光のとどまっている特別な場所だったから、大祭司以外にはこのへやの神聖な荘厳さを人間の目で見ることができなかった。大祭司はいつもおののきながらはいつて行き、一方、民は厳粛な沈黙の中に大祭司が出て来るのを待った。彼らは神の祝福を熱心に願った。贖罪所の前で、神は大祭司とお語りになった。もし大祭司の至聖所にいる時間が普通よりも長引くと、民は自分たちの罪かあるいは何か祭司の罪のゆえに、彼が神の栄光にうたれて死んだのではなかろうかと恐れ、おびえた。しかし、大祭司の衣についている鈴の音がきこえると、人々は安どの胸をなでおろすのだった。やがて大祭司は出てきて、民を祝福した。」（生き残る人々 180, 181）

4. 仮庵の祭

- a. ユダヤ歴の一年の最後の祭りの間に、何がありましたか。そして、これはなぜ喜びの祭りだったのですか（レビ記 23:33-36, 39-43）。

「仮庵の祭はヘブル人が荒野での旅路の間、天幕に住んでいた時を記念して守られた。この偉大な祭が続く間、民は自分たちの家を離れて、野生のオリブやミルトスの緑の枝で作られた小屋に住む事が要求された。これらの葉の茂った構築物は時に家々の屋上や街路に建てられたが、それよりも城壁の外や谷、また丘に沿って建てられることが多かった。あらゆる方向に散らばって、これらの緑の野営は、まさに絵画のような様子を提示した。

祭は一週間続き、その間中、宮は大きな喜びの祭の光景であった。犠牲の儀式の壮麗さがあり、楽の音があり、ホサナの声と混じってその場所を喜びに満たした。最初の夕暮れに、祭司たちは自分たちの銀のラッパを長く高い音を響かせた。そしてそれに答えるラッパと、民が自分の小屋から叫ぶ喜ばしい声が丘や谷を越えてこだまし、祭の日を歓迎した。それから、祭司がケデロンから流れる水に瓶を浸して水を汲み、それからそれを高く掲げて、ラッパが鳴り響く間、彼は宮の広い階段をのぼっていき、音楽に合わせてゆっくり歩調をとり、その間、次のように詠唱した『エルサレムよ、われらの足はあなたの門のうちに立っている』。

彼は宮の庭の真ん中を占めている祭壇にまで瓶を持って行く。ここに二つの銀の洗盤があり、祭司が各々の傍らに立っている。瓶の水が一つの洗盤に注ぎ込まれ、そして瓶のぶどう汁がもう一つに注がれた。そして両方の中味は、管を通して流れ、ケデロンへつながり、死海へと通じていた。この捧げられた水を見せたことは、荒野でヘブル人を活気づけるために岩から流れた泉を表していた。それから、喜ばしい歌声が響き渡った。

『主はわが力、わが歌であって』『あなたがたは喜びをもって、救の井戸から水をくむ』。甚大な集会にいる全員が、楽器や深い音色のラッパと共に勝利の合唱に加わり、有能な聖歌隊が壮大な讃美のハーモニーのとれたコンサートを指揮した。

祭は比類のない壮麗さをもって行われた。夜には宮とその宮が全市を照らす人工的な光でまばゆく輝いた。音楽、しゅろの枝をふり、喜ばしいホザナ、人々の大きな集まり、それらの上に流れるつるさされた灯火からの光、祭司たちのまばゆい衣装、儀式の壮大さ、すべてが結合して光景を眺めるすべての人にとって深く印象に残るものとした。」（預言の霊 2 卷 343-345）

5. 救いの象徴

- a. 昔のイスラエルの祭を考えると、何を悟るべきですか（ローマ 15:4; ヨハネ 1:29）。

「主がユダヤ国家をご自分の豊かな知識の宝の保管者とされることによって世のために備えられた優位点は数え上げることができない。彼らはこのお方の特別な恩寵の臣民である。真の神を知り、礼拝する民として、彼らはこのお方の御国の諸原則を伝えなければならなかった。彼らは主によって教えられた。このお方はご自分の御国の代表者にふさわしい者とする品性を形成するために好ましいものは何一つ彼らから差し控えられなかった。彼らの祭、すなわち過越の祭、ペンテコステ、仮庵の祭、またこれらの集会に伴う儀式は、神がご自分の民に委ねられた真理を宣布していた。これらの集まりにおいて、民は嬉しさと喜びを示し、自分たちの特権や自分たちの主の恵み深い扱いに対する彼らの感謝を表現した。こうして、彼らは神を知らない世に、主がご自分に信頼するものをお捨てにならないことを示すのであった。喜ばしい声をもって、彼らは歌った、『わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう』（詩篇 43:5）…

イスラエルの子らの歴史は、世の終わりが臨むわたしたちに対する訓告と教えのために記されている。この終わりの時代に信仰に堅く立って、ついには天のカナンへ入りたいと願う人々は、イエス・キリストがイスラエル人に語られた警告の言葉に耳を傾けなければならない。これらの教訓が荒野にある教会に与えられたのは、永遠にわたる神の民の世代を通じて、彼らが研究し、注意を払うためである。」（上を仰いで 232）

個人的な復習問題

1. 毎朝夕ごとに、羊が捧げられる必要があったのは、なぜですか。
2. 過越の夜にイスラエルの子らを守ったものは何ですか。
3. 収穫の主を認めるために、どの儀式が考案されましたか。
4. なぜ贖罪の日はそれほど重要なのですか。
5. 祭の日の全般的な目的は何ですか。

象徴を理解する

「イエスはもう一度大声で叫んで、ついに息をひきとられた。すると見よ、神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。」(マタイ 27:50, 51 (上句))

「神殿の幕が裂けたことは、ユダヤ人の犠牲と儀式がもはや神に受け入れられなくなった証拠であった。大いなる犠牲であられるキリストがささげられて、神に受け入れられたのであった。」(初代文集 422)

参考文献： 人類のあけぼの上巻 314-320, 414, 415

日曜日

10月13日

1. 日ごとの献身

- a. なぜ、犠牲の捧げ物に替えて、十字架上のイエスの犠牲が必要だったのですか(ヘブル 10:9-12; 使徒行伝 3:1)。昔の時代の朝夕の犠牲は、今日わたしたちにとって、どのような関係がありますか。

「キリストはユダヤ制度全体の基礎であられた。ユダヤ人は型と影の下で礼拝していたが、それらはみな来たるべき世の贖い主を指し示していた。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1897 年 2 月 25 日)

「朝夕のいけにえをささげるために定められた時間は、清い時とみなされた。やがて、ユダヤ民族全体は、その時間を所定の礼拝の時間として守るようになった。…この習慣はキリスト者にとって、朝夕の祈りの模範である。神は、礼拝の精神のない単なる儀式をきらわれる。しかし、神を愛し、朝に夕に頭をたれて犯した罪のゆるしを求め、必要な祝福を願う者たちを大きな喜びをもってごらんになる。」(人類のあけぼの上巻 416, 418)

「もしすべての家が祈りの家にならなければならない時があるとするれば、それは今である。いにしへの父祖たちのように、神を愛すると公言する人々は自分たちの幕屋を張るところではどこでも、神を礼拝するために祭壇を立てるべきである。父親は、家庭の祭司として、朝夕の犠牲を捧げ、そのかたわら妻と子らは祈りと讃美において一つになるのである。神がこのように礼拝される家庭に、イエスはとどまることを愛される。」(パイブル・エコー 1893 年 12 月 15 日)

2. 心を清める

- a. 過越は、クリスチャンとしてのわたしたちに、どのような意味がありますか（コリント第一 5:7; ヘブル 7:26, 27）。

「過越の祭りは記念の祭りであると共に、また、一象徴的な祭りでもあった。それはエジプトからの解放を指示していたばかりでなく、キリストがその民を罪の束縛から自由にして成就される、さらに驚くべき解放をも表示していた。犠牲の小羊は、われわれの救いの唯一の希望である『神の小羊』をあらわしている。『わたしたちの過越の小羊であるキリストは、すでにほふられたのだ』と使徒は言った（コリント第一 5:7）。過越の小羊はほふられるだけでは十分ではなく、その血を柱に注がなければならなかった。そのように、キリストの血といさおしは魂にも適用されなければならない。われわれは、キリストが死なれたのは世のためばかりでなく、われわれ一人びとりのためであることを信じなければならない。われわれは、贖いの犠牲の功績を自分のものとしなければならない。……

小羊は、そのまま調理され、骨は一本も折られなかったが、そのようにわれわれのために死なれることになっていた神の小羊の骨は、一本でも折れてはならなかった（ヨハネ 19:36 参照）。こうして、キリストの犠牲の完全さが示されていた。」（人類のあけぼの上巻 318, 319）

- b. 過越におけるヒソブは、何を象徴していましたか（詩篇 51:2, 7; 119:9; ペテロ第一 1:22）。

「血を注ぐのに用いられたヒソブは、清めの象徴で、ライ病人や、死人にさわって汚れた人々のきよめにも用いられていた」（同上 318）

「わたしたちは安息日の宗教に加えて他に、何かが欠けている。わたしたちは、生きた原則を必要としており、日ごとに個人の責任を感じる必要がある。多くの人はこれを避ける。そしてその結果は、不注意、無関心、見張りや霊性の欠如である。教会の霊性はどこにあるだろうか。信仰と御霊に満ちた男女はどこにいるだろうか。わたしの祈りは、『あなたの教会を清めて下さい、ああ神よ』である。」（教会への証 1 巻 99）

「神から出ている宗教だけが神へいたる宗教である。神に正しく仕えるためには、神のみたまによって生れなければならない。みたまは心をきよめ、思いを新たにし、神を知り愛する新しい能力をわれわれに与える。それは神のすべてのご要求によることで従う心をわれわれに与える。これが真の礼拝である。」（各時代の希望上巻 224, 225）

「神の民は、真理への従順を通して自分の魂を清め、主の来臨のためにこのお方の前で傷のないものとして立つ準備をしなければならない。」（伝道 695）

3. 聖なる生活、聖なる習慣

- a. キリストの犠牲の完全さは、どのように象徴されていたかを説明しなさい (出エジプト記 12:46; ヨハネ 19:36)。
- b. 過越の小羊はほふられるだけでなく、食されたという事実は、わたしたちの過越であられるキリストと、どのように関係がありますか (出エジプト記 12:8; ヨハネ 6:53, 54, 63)。

「われわれは、罪がゆるさるるために、キリストを信じるというだけでは、まだ十分ではない。われわれはみ言葉を通して、キリストから来る霊的な力と栄養とを、信仰によって絶えず受けていなければならない。キリストは言われた。……。キリストに従う者は、彼の経験にあずかる者でなければならない。彼らは神の言葉を受け入れ、消化し、それが彼らの生活と行為を動機づける力となるようにしなければならない。彼らは、キリストの力によって彼のかたちに変えられ、神のご性質を反映しなければならない。彼らは、神の子の肉を食べ、血を飲まなければならない。そうしなければ、彼らの中に生命はない。キリストの精神と働きが彼の弟子たちの精神となり、働きとなるべきである。

小羊は苦菜と共に食べなければならなかったが、それはエジプトでの奴隷の苦しさを示していた。そのようにわれわれがキリストを食べるとき、われわれは心のうちで自分の犯した罪の悔い改めをしていなければならない。」(人類のあけぼの上巻 319)

- c. 過越は、特別にどの儀式を予表していましたか。またそれにどの儀式が追加されましたか (マルコ 14:16, 22-25; ヨハネ 13:1-5, 13-15)。

「キリストがご自分の弟子たちの足を洗われた行為は聖なるものであった。そのようにされたこのお方の動機は、キリストが彼らのために何をなされたかを覚えていることを通して、一人を他の人より高めたりすることのない雰囲気をもたらすためであった。この儀式は兄弟が自分の兄弟の気持ちを理解するように導くものであった。

...

この儀式は人の知的な能力に訴えるよりも、その心に訴える。彼の道徳的、また霊的な性質が、それを必要としている。もしこのお方の弟子たちがこれを必要としていなければ、最後の晩餐と関連し、またそれに含まれるものとして、キリストの最後に確立された儀式として彼らのために残されることはなかったであろう。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1898 年 6 月 14 日)

4. 取り分けられる

- a. 過越がもともと制定されたとき、神はそれに参加することが許されるために、どのような制約を設けられましたか。それはなぜですか（出エジプト記 12:43-48）。

「〔主は〕 アブラハムとその子らに割礼を要求された。それは神が彼らをご自分の特別な宝としてあらゆる国民から彼らを切り出し、分離させられたしるしとして、肉を丸く切ることであった。このしるしによって、彼らは他の国々と雑婚しないことを自ら厳粛に誓ったのであった。なぜなら、そうすることによって、彼らは神とその聖なる律法への敬神を失い、彼らの周りにいる偶像礼拝者のようになるからであった。

割礼の行為により、彼らはアブラハムと結ばれた契約の条件、すなわち他のすべての国々から分離すること、また完全であることを、自分たちの側で果たす事に厳粛に同意したのである。もしアブラハムの子孫が他の国々と分離し続けていたなら、彼らは偶像礼拝へと誘惑されることはなかったのであった。他の国々と分離し続けることによって、彼らの罪深い習慣に携わるという大きな誘惑も神に対する反逆も彼らから取り除かれるのであった。彼らは自分たちの周りにいる国家と混じることによって、自分たちの特別な聖なる品性をかなりの度合いでなくしてしまった。」（預言の霊 1 巻 262, 263)

- b. 旧約における割礼のように、新約では、どの儀式が世からの分離と神への献身の記章ですか（コロサイ 2:6, 10-12; ガラテヤ 5:6）。

「キリストはバプテスマをご自分の霊的な王国に入るしるしとなさった。このお方はこれを御父と御子と聖霊の権威の下で認められることを願うすべての人が応じなければならない明白な条件となさった。…

バプテスマは最も厳粛な世の放棄である。御父、御子、聖霊の三重のみ名によってバプテスマを受ける人々は、クリスチャン生活に入るちょうど最初に、自分がサタンの奉仕を捨てて、王家の一員、すなわち天の王の子となったことを公に宣言するのである。彼らは次の命令に従った。『彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ…そして、汚れたものに触れてはならない』。そして彼らに次の約束が成就される。『触れなければ、わたしはあなたがたを受けいれよう。そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ、むすめとなるであろう。全能の主が、こう言われる』（コリント第二 6:17, 18)。（教会への証 6 巻 91)

5. 罪からの厳粛な分離

- a. イエスは過越のために、どの備えをして下さいましたか。このお方と共に、だれがこの祭に参加しましたか（マルコ 14:12-15）。

「主の晩餐は、ときたま、あるいは年ごとに守るのではなかった。年ごとの過越よりもっと頻繁に守るべきであった。この厳粛な儀式はイスラエルの子らのエジプトからの救出よりもはるかに偉大な出来事を記念する厳粛な儀式である。あの救出は、キリストがご自分の民の最終的な救出のために捧げられたご自身の犠牲によってなされる偉大な贖罪の型であった。

この儀式は多くの人々が望んでいるように排他的なものとされるべきではない。各自は公にそれに参加し、こうして証を担うのである。わたしはキリストを個人的な救い主として受け入れる。このお方はわたしのためにご自分の命を与えてくださった。それはわたしが死から救出されるためであった。」（信仰によってわたしは生きる 302）

「わたしはイエスがご自分の弟子たちだけを連れて、二階の広間で、最初に彼らの足を洗われ、それから、ご自分の裂かれた体を表す裂かれたパンを食べるように、またご自分の流された血を表すぶどう汁を彼らにお与えになった過去を指し示された。わたしはすべての人が理解して動き、これらの事柄におけるイエスの模範に従うべきこと、またこれらの儀式に出席するときに、不信者とはできる限り分離しているべきことを見た。」（ビュー・アンド・ヘルド 1850 年 11 月 1 日）

- b. 種入れぬパンは、何を象徴していますか（コリント第一 5:6-8）。

「過越（すぎこし）の祭りのときには、心から罪を捨て去るとともに、家の中からすべてのパン種を取り除くように指示されていた。」（キリストの実物教訓 70）

個人的な復習問題

1. 今、かつてなかったほど、わたしたちが日ごとに贖罪を必要としていることを、何が明らかにしていますか。
2. 過越の奉仕におけるヒソブは、今日、何に相応しますか。
3. なぜ、この終わりの時代に、わたしたちにとって謙遜の儀式が、非常に重要なのですか。
4. どのように昔の人が無割礼の人々と混じたことが、今日繰り返されていますか。
5. 主の晩餐は、何とだれから分離すべきですか。

昇天から最終的な贖罪まで

「天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。」(伝道の書 3:1)

「イエスの奇跡はこのお方の神性の証拠である。しかし、このお方が世の贖い主であられる最も強力な証拠は、新約の歴史と比較された旧約の預言の中に見いだされる。」(預言の霊 3 巻 211)

参考文献： 各時代の大争闘下巻 8-21, 45

日曜日

10 月 20 日

1. 初穂

a. 収穫の始めに主の前で揺らされた穀物の束によって (レビ記 23:9-11)、何が象徴されていましたか (マタイ 27:50-53; コリント第一 15:17-20)。

「キリストは眠った者の初穂として死人の中からよみがえられた。彼は揺祭のたばの本体であって、そのよみがえりは揺祭のたばが主の前にささげられる日に起った。千年以上のあいだ、この象徴的な儀式が行なわれてきた。収穫の畑から、熟した穀物の初穂が集められ、人々が過越節のためにエルサレムに行ったとき、その初穂のたばは主の前に感謝のささげ物としてふられた。これがささげられるまでは、作物にかまを入れ、それを集めてたばにはならなかった。神にささげられたたばは収穫を象徴していた。そのように、初穂なるキリストは、神の王国に集められる霊的大収穫の象徴であった。キリストのよみがえりはすべての死せる義人のよみがえりの型であり保証である。」(各時代の希望下巻 316)

「〔キリスト〕は、揺祭のたば、すなわち再臨の時に墓から現われる大群集を代表する者としてキリストと共によみがえった人たちを神に紹介される。」(同上 386)

2. ペンテコステ

- a. ヘブル人の時代に、揺祭の捧げ物から 50 日目に祝いがありましたが、ペンテコステ(ギリシャ語で『第 50』の意)のときに、どの魂の収穫が集められましたか(使徒行伝 2:1, 4, 7, 8, 41)。

「ユダヤの指導者たちは、キリストのみわざはキリストの死とともに終わるのだと思っていた。ところが、それどころか、彼らはペンテコステ(五旬節)の日のすばらしい光景を目撃したのである。彼らは、弟子たちがこれまで知らなかった権威と力をさずけられ、また、語る言葉もさまざまのしるしや不思議によって強められて、キリストについて説くのを聞いた。ユダヤ教の根拠地エルサレムでは、幾千もの人々が公然と、ナザレのイエスをメシヤとして信じる信仰をあかした。

弟子たちは魂の大きな収穫に驚き、おどろあがってよろこんだ。」(患難から栄光へ上巻 40)

「ペンテコステの当日、聖霊が注がれたその結果はどうであつたろうか。復活された救い主についての喜ばしい知らせは、人の住むところにはどこにでも伝えられた。弟子たちがあがないの恵みについての使命を伝えと、人々の心はこの使命の力に従った。教会は四方から集まってくる改心者を見守った。信仰を棄てた人々ももう一度悔い改めた。罪人たちは、高価な真珠を求めて信者たちに加わった。福音に最も激しく反対していた人々もその擁護者になった。……

彼らはどんな脅迫によつても、拘束されたり脅かされたりすることはなかった。主は彼らによつてお語りになり、彼らの行く先々で、貧しい者たちは福音が自分たちに語られるのを聞いた。そして、神の恵みの奇跡が起こった。

人が聖霊の支配に身をゆだねる時、神はこのような大いなる働きをなさることができるのである。」(患難から栄光へ上巻 44, 45)

- b. このことは今日、わたしたちにとって、どのように靈感を与える刺激となりますか(使徒行伝 5:30-32)。

「聖霊の約束は一時代や一民族に限られたものではない。キリストは、み霊の聖なる感化は世の終わりにいたるまで、キリストに従う者の上にあると宣言なさった。ペンテコステの日から現代にいたるまで主とそのみわざに自分のすべてをささげてきた人々に、助け主が送られてきた。キリストを個人的な救い主として受け入れたすべての者に、聖霊は助言者、聖別する者、導き手、証人としてのぞんだ。信ずる者たちは、神に密接につながって生活すればするほど、あがないの主の愛と救いの恵みについて一層はつきりと力強くあかした。」(同上 45)

3. ラッパを吹き鳴らす

- a. ヘブル人の制度では、ラッパが厳粛な最後の贖罪を告げました。これはどのようにウィリアム・ミラーの宣教と類似していますか（レビ記 23:23-25; マタイ 24:32, 33）。

『神は〕最後の審判の切迫を知らせるために、使者を選んでつかわされた。』（各時代の犬争闘下巻 29）

「ほとんどの都市で、何十人という人々が彼の説教の結果悔い改め、あるところでは、何百人もの者が悔い改めた。多くの所で、プロテスタント諸教会のほとんどすべての教派が彼に扉を開き、いくつもの教派の牧師たちから説教の招待が来るのが普通であった。彼は、招かれたところでだけ働くことにしていたが、まもなく、続々と来る招待の半分にも応じられなくなった。再臨の正確な時期に関する彼の見解に同意しない人々も、キリストの再臨が確実なことであって、しかも切迫していること、そして自分たちの準備が必要なことについては、納得したものが多かった。大都市のいくつかにおいて、彼の働きは著しい影響を及ぼした。酒類の販売業者が商売をやめて、店を集会所にした。賭博場が廃止された。無神論者、理神論者、普遍救済論者たち、また、最も身持ちの悪い道楽者までが改心し、その中には、長年教会に来ていなかった者たちもいた。種々の教派が各地において、ほとんど毎時間祈祷会を持ち、実業家たちは正午に、祈りと賛美のために集まった。といっても別に、狂気じみた興奮などはなく、人々の心にあったのは厳粛な思いであった。彼の働きは、初期の宗教改革者たちの働きのように、単に感情を動かすのではなくて理解力に訴えて良心を目ざめさせるものであった。

ミラーは、1833 年、彼の属していたバプテスト教会から、説教をする許可証を受けた。彼の教派の多数の牧師も彼の働きを承認し、彼が働きを継続することを正式に認めたのである。」（同上 20, 21）

「再臨の教義を受け入れたものは、神の前に悔い改めてへりくだることの必要を自覚した。キリストと世との間をためらっていたものが多いいたが、今こそ決心すべき時であると感じた。『彼らには、永遠に関することが、これまでになく現実のものとなった。天は近くなり、神の前に自分たちの罪深さを感じた。』……キリスト者は、新しい霊的生命に活気づいた。彼らは、時間が短いことを感じ、同胞のためになすべきことは、速やかにしなければならなかったと感じた。地は、退いていき、永遠が彼らの前に開かれるように思われた。そして、魂とその永遠の運命にかかわるすべてのことが、地上のすべてのものの光をあせさせるように感じられた。」（同上 30）

4. 時とメッセージ

- a. 神が間違いなく、明確な時刻表に従って活動しておられることを、どのように知ることができますか（伝道の書 3:1; マルコ 1:14, 15）。

「救い主ご自身によって与えられた福音の使命は、預言に基づいていた。イエスが『時は満ちた』と宣言されたその『時』は、天使ガブリエルによってダニエルに知らされた期間のことであった。」（各時代の希望上巻 286）

- b. どの歴史が、ウィリアム・ミラーの預言の調査によって証明されましたか（ダニエル 9:24-27）。

「救い主の初臨と彼の生涯の働きにまつわる重要な諸事件が、天使ガブリエルによってダニエルに知らされた。〔ダニエル書 9:24 引用〕。預言では、一日は一年をあらわしている（民数記 14:34、エゼキエル書 4:6 参照）。70 週、すなわち 490 日というのは、490 年のことである。この期間の始まる時が示されている。〔ダニエル書 9:25 引用〕。それは 69 週すなわち 483 年になるのである。エルサレムを再建せよという命令が、アルタクセルクセス・ロンギマネスの勅令によって完了して実施されたのは、紀元前 457 年の秋であった（エズラ記 6:14; 7:1, 9 参照）。この時から 483 年経過すると、紀元 27 年の秋に至るのである。預言によれば、この時に、油注がれた者、メシヤが現れるのであった。紀元 27 年に、イエスはバプテスマを受けて、聖霊の油を注がれた。そしてその後間もなくして、伝道をお始めになったのである。その時、『時は満ちた』という宣言がなされたのである（マルコ 1:15）。

さらに天使は、『彼は一週の間（七年間）多くの者と堅く契約を結ぶでしょう』と言った。救い主が伝道をお始めになってから七年間は、特にユダヤ人に福音が伝えられることになっていた。三年半はキリストご自身の宣教であった。そしてその後は、使徒たちによるものであった。『そして彼はその週の半ばに、犠牲と供え物とを廃するでしょう』（ダニエル書 9:27）。真の犠牲であられるキリストは、紀元 31 年の春、カルバリーでさげられたのである。……

一週間すなわち 7 年間は、紀元 34 年に終わった。」（国と指導者下巻 300, 301）

5. 確かな預言的基礎

- a. ウィリアム・ミラーはキリストの奉仕のすべての段階を完全に理解していたわけではありませんでしたが、どの主題に基づいて、彼は悔い改めを呼び求めていますか（ダニエル 8:14）。今日、わたしたちのための召しは何ですか（ペテロ第一 1:15, 16）。

「70 週、すなわち 490 日が 2300 日から切り取られると、あとに 1810 日が残る。490 日が終わったあとで、1810 日もまた成就するはずであった。紀元 34 年から 1810 年たてば、1844 年になる。この大いなる預言の期間が終わったところで、『聖所は清められる』と神の天使はあかしたのである」（各時代の大争闘下巻 16）

「〔ウィリアム・ミラー〕は、地上が聖所であるという一般の見解を採用し、聖所の清めとは、主の再臨の時に地上が火で清められることであると信じた。したがって、2300 日の終結が明確に預言されているのを見いだしたとき、これは再臨の時を示しているものであると結論を下した。彼の誤りは、聖所とは何かということに関する一般の見解を受け入れたためであった。」（同上 46）

「大いなる日が近づいていた。そして神は摂理のうちに、人々に彼らの心の状態を示すために、特定の時に関する試験をお与えになった。メッセージは、教会を試し、清めるためのものであった。彼らは、彼らの愛着がこの世にあるのか、それともキリストと天にあるのかを、悟らせられるのであった。彼らは救い主を愛すると言っていた。その愛を、今、証明しなければならなかった。」（同上 47）

個人的な復習問題

1. キリストとこのお方と共にいる人々の復活は、どのように象徴されていましたか。
2. どのような伝道のできごとが、わたしたちの刈り取ることでできるもっとも価値ある収穫を表していましたか。
3. ウィリアム・ミラーの集会を特徴づけていたのは、何ですか。
4. わたしたちが時に基づいた聖書の預言を理解することは、なぜ命に関わるのですか。
5. ウィリアム・ミラーの調査の結果、どの発見がありましたか。またどのようにこれは教会の態度を試す試金石となりましたか。

第一安息日献金 南ミンダナオ島会議の本部のために

ミンダナオ島は、フィリピンにある二番目に大きい最南端の大きな島です。これはまた国の主要な三つの島群の一つの名でもあります（他の二つはルソンとビサヤです）。それはミンダナオ島で構成され（人口 1800 万人以上）、他に小さい群島がまわりにあります。



フィリピンの人口の 70%超が、ローマ・カトリックの宗教を告白しています。17%がプロテスタント、5-10%がイスラム教、そして残りが仏教や他の宗教です。

公用語はフィリピン語と英語ですが、ミンダナオで最もよく使われている言語はセブアノ語（ビサヤ）です。

1958 年の誕生以来、フィリピンにおける SDA 改革運動の働きはミンダナオ島、特にダバオ市で始まりました。後に、ディゴスに土地を購入し、ダバオ・デル・スルがこの国の最初のミッション本部となりました。神の恵みにより、働きは成長し、この最初のミッションから、それは国中に広がり、今や五つのフィールド会議と非常に活動的な教会員からなるユニオン会議が設立されています。

この時点で、この本部の構造物は非常に古くなり、それを修復するより、兄弟たちはフィールド会議の活動の需要に応えるために、新しいものを建築することを決定しました。この新しい建物には、寮、トイレ設備、組織再編成会議を持つための会議ホールが含まれています。

「わたしたちの資金を、世界で神のご目的の実行する事業を稼働させるために捧げることによって、このお方と共に働く共労者となることを特権だと感じることは正当である。キリストの霊を持っているすべての人は、やさしく同情的な心と、開かれた惜しみない手を持っている。キリストに引きつける目的のものは何でも、本当に利己的なものとなることはできない。」（ビュー・アズ・ハルト 1912 年 4 月 18 日）

ここの兄弟たちはこの事業のために資金を積み立てていますが、まだ完成には長い道のりがあります。主が皆さんの惜しみない心を祝福して下さり、この地域におけるご自分の働きをさらに進めて下さるようというのが、わたしたちの真心からの願いであり、祈りです。

南ミンダナオ島フィールド会議の皆さんの兄弟より

贖罪の日

「この日にあなたがたのため、あなたがたを清めるために、あがないがなされ、あなたがたは主の前に、もろもろの罪が清められるからである。」(レビ記 16:30)

「わたしたちは大いなる贖罪の日に生存している。そしてすべての人が神の御前に悔い改め、自分の罪を告白し、また生きた信仰によって、十字架につけられ、そして生きておられる救い主の功績に安んじるべき時は今である。」(牧師への証 224, 225)

参考文献： 各時代の大争闘下巻 46-48; 119-137

日曜日

10月27日

1. 最後の務め

a. 聖所に関してミラー派の人々は、どの重要な真理を自分たちが見過ごしていたことを悟りましたか(レビ記 16:29-31; ヘブル 8:1, 2; 9:24)。

「聖書を注意深く祈りと真剣な思考をもって探った。そしてしばらくしてから、光がわたしたちの闇の上に注がれ、疑いと不確かさは一掃された。

ダニエル 8:14 の預言が、地球を清めることに言及している代わりに、天におけるわたしたちの大祭司の終わりの働き、贖罪の完成、そして民がご自分の来臨の日に耐えるよう準備させることを指し示していることが、今や明らかになった。」(教会への証 1 巻 58)

「キリストの犠牲と祭司職の影であった、型としての制度において、聖所の清めは、年ごとの奉仕において大祭司が行なう最後の務めであった。それは、贖罪の最後の働き、すなわち、イスラエルから罪を取り除くことであった。それは、天の記録に記されている神の民の罪を除く、あるいは消し去るという、天の大祭司の奉仕における最後の働きを予表していた。この務めには、調査の働き、審判の働きが含まれていた。そして、それは、キリストが力と大きな栄光のうちに天の雲に乗って来られる直前に起こる。なぜならば、彼が来られる時には、すべての人の運命は決定しているからである。」(各時代の大争闘下巻 46)

2. 厳粛な時

- a. 2300 日が 1844 年に終了して以来、わたしたちの大祭司イエス・キリストはどこで働いておられますか。なぜそれが重要なのですか（ヘブル 9:1-3; 黙示録 3:7; 11:19）。

「神の戒めの重要性が明らかに照り輝き、神の民が安息日の真理のために試練を受けるのは、十誠の戒めを納めた箱のある天の至聖所の門が開かれたときであるのを見せられた。この門は、1844 年に、イエスの聖所における奉仕が終わったときに開かれた。そのときイエスは立ち上がって、聖所の門を閉じ、至聖所の門を開き、第二の幕の中に入られた。今彼は箱のそばに立っておられる。そして、今、イスラエルの人々の信仰はここに向けられている。

イエスが聖所の門を閉じられたので、だれもそれを開けることはできない。また彼が至聖所への門を開かれたので、だれもそれを閉じることができないことを、わたしは見た（黙示録 3:7, 8 参照）。そしてイエスが、箱のある至聖所の門を開いて、戒めが神の民に対して輝き出ているので、彼らは安息日の問題によって試みられていることを、わたしは見た。」（初代文集 105, 106）

- b. 歴史上のこの時点において、わたしたちは何を悟るべきですか（テモテ第一 5:24）。

「わたしたちは、罪が告白と悔い改めによって先立って裁きの座に行く、大いなる贖罪の日にいる。神は、神に仕える牧師たちの無気力な、霊のこもらない証をお受け入れにならない。このような証は、現代の真理ではないのである。この時代のメッセージは、神の教会を養う、時にかなった食物でなければならない。しかしサタンはこのメッセージから力を奪い、人々が主の日に立つ備えが出来ないようにさせている。

1844 年にわたしたちの大祭司は天の至聖所に入れ、調査審判の働きを始められた。死んだ義人の裁きが神の前に取り上げられてきた。その働きが終わると、生きている者に審判が宣告される。これらの厳粛な時は、なんと尊く、なんと重要な時であろう！」（レクテッド・メッセージ 1 巻 162）

3. 一人びとりの調査

- a. 裁き主がわたしたちを一人ひとり個人的に関与しておられることを、何が示していますか（伝道の書 11:9; マタイ 12:36; ダニエル 7:9, 10）。

「わたしたち一人ひとは、天の法廷で決定が保留されている。わたしたち一人ひとりが、この世で行ったことに従って裁かれる。型の奉仕において、地上の至聖所で大祭司が贖罪のわざを行っていたとき、人々は神の前に身を悩まし、自分たちの罪を告白することを要求された。それは自分たちの罪が贖われて消し去られるためであった。キリストが天の聖所において、その民のためにとりなしておられ、最終的な取り消すことのできない判決がすべての人の裁判において宣告されようとしているこの贖罪の日の本体において、わたしたちに要求されることが少しでも減じることがあろうか?」（*セクレット・メッセージ* 1 巻 162, 163）

- b. このことによってわたしたちは何を考えるために立ち止まるべきですか（伝道の書 12:13, 14）。

「この恐るべき厳粛な時に、わたしたちはどんな状態であろうか。なんとという誇りが教会に満ちていることだろう! なんとという偽善や欺き、衣服への愛、軽薄、享楽、優越を求める心が! これらすべての罪が、心を曇らせ、永遠のものを見えなくさせている。わたしたちが世界歴史のどこにいるかを知るために、聖書を調べないであろうか。この時代に、わたしたちのために完成されつつある働きに関してよく理解し、この贖罪の働きが進められている間にわたしたち罪人が占めるべき立場をよく理解しないであろうか。もしわたしたちが、少しでも自分の魂の救いについて関心があるなら、わたしたちは決定的に変わる必要がある。真に悔い改めて主を求め、深い悔悟の念をもって自分の罪を告白し、それが消し去られるようにしなければならない。

わたしたちはもはや魔法をかけられたような地に止まっていたはならない。わたしたちは速やかに自分の恩恵期間の終わりに近づきつつある。すべての魂は、わたしの魂は主の前にどのように立っているだろうかと問うべきである。わたしたちはいつ自分の名がイエスのくちびるに取り上げられて、自分たちの審判が最終的に決定されるかを知らない。ああ、それは一体どんな判決であろう! わたしたちは義人として数えられるであろうか、あるいは悪人として数えられるのであろうか?」（*セクレット・メッセージ* 1 巻 125, 126）

「贖罪の最後の働きに関連した光景は厳粛である。そこにかかわる関心は極めて重大である。」（*預言の霊* 4 巻 314, 315）

4. 理にかなったタイミング

a. なぜキリストの再臨の前に調査審判が必要なのですか（マタイ 16:27; 黙示録 22:12）。

「古代において、民の罪が、信仰によって罪祭の上におかれ、そしてその血によって、象徴的に地上の聖所に移されたように、新しい契約においては、悔い改めた者の罪は、信仰によってキリストの上におかれ、そして実際に天の聖所に移されるのである。そして、地上の聖所の型としての清めが、それを汚してきた罪を取り除くことによって成し遂げられたように、天の聖所の実際の清めも、そこに記録されている罪を取り除くことによって、すなわち消し去ることによって、成し遂げられねばならない。しかし、これを完成するためには、だれが罪の悔い改めとキリストを信じる信仰によって、贖いの恵みを受ける資格があるかを決定するために、記録の書の調査がなされねばならない。したがって、聖所の清めには、調査の働き、すなわち審判の働きが含まれるのである。この働きは、キリストがご自分の民を贖うために来られる前に行なわれねばならない。なぜなら、彼が来られる時には、彼はすべての者に、それぞれの行為に応じて報いを与えられるからである。」（各時代の大争闘下巻 136, 137）

b. だれから、裁きが始まりますか（ペテロ第一 4:17）。

「象徴的儀式においては、告白と悔い改めによって神の前に出て、その罪が罪祭の血によって聖所に移された者だけが、贖罪の日の儀式にあずかることができた。そのように、最終的な贖罪と調査審判の大いなる日に、審査されるのは、神の民と称する人々だけである。悪人の審判は、これとは全く別の働きで、もっとあとで行なわれる。」（各時代の大争闘下巻 211）

c. 悪人たちはいつ、だれによって裁かれますか（コリント第一 6:2, 3）。

「第一と第二の復活の間の千年間に、悪人の審判が行なわれる。……パウロが『聖徒は世をさばく』と予見したのは、この時のことを指しているのである（コリント第一 6:2）。彼らはキリストと共に悪人を審く。」（各時代の大争闘下巻 444）

5. 標準に一致する

- a. 神はご自分の恵みによって、わたしたちが最終的な裁きを通過することを保証するために、何をしておられますか（ローマ 8:28, 29; エペソ 4:11-13）。

「わたしたちをご自分に連れてこられる神のご目的は、キリストのみかたちにわたしたちを一致させることである。」（ビュー・アソド・ヘラルド 1896 年 1 月 21 日）

「真実で、謙遜で、真剣なクリスチャンは、完全な品性の型を受けるようになり、彼の心はいつもキリストのみかたちに一致している。彼の命は善行と愛の通路のうちに流れでる。そのような人は神の内に確立される。恵みが始めた働きは、もしイエスに近く押し進む真剣な努力と結合するならば、栄光が神の御国で完成するのである。」（同上 1880 年 6 月 3 日）

- b. 神の律法はイエスのみかたちにわたしたちの品性を一致させるために、なぜ重要不可欠なのですか（ローマ 7:7; テモテ第一 1:8-10; ヨハネ第一 1:9）。

「わたしたちがクリスチャン品性の完全を得る前に、わたしたちすべての者のために大いなる働きがなされなければならない。神の律法が義の標準である。これはわたしたちが自分たちの品性の欠点を識別するためにのぞきこむべき鏡である。わたしたちが一般の鏡を見るとき、それはわたしたちにある欠点を指し示すが、ひとつとしてしみを取り去ることはない。わたしたちはきれいになりたければ、行って洗わなければならない。神の律法も同様である。それは神の偉大な鏡、すなわち罪の道徳的探知機である。しかし、律法には救う資質はない。そこには不法者を許す力はない。…そうであれば、罪人の前にある働きは何であろうか？それは神に対する悔い改めとわたしたちの主イエス・キリストに対する信仰を働かせることである。このお方の尊い血のうちに、罪のしみをみな洗い去ることができる。」（現代の真理 1885 年 11 月 3 日）

個人的な復習問題

1. ミラー派の人々にとって、自分たちの聖書研究を辛抱強く続けることが、なぜ重要だったのですか。
2. 黙示録 3 章の「開かれた門と閉じられた門」の意味は何でしたか。
3. なぜ調査審判がこれほど重要な真理なのですか。
4. なぜ義人と悪人は違う時に裁かれるのですか。
5. 律法がわたしたちの品性の欠点を明らかにするとき、わたしたちはどうすべきですか。

真面目な態度

「万物の終りが近づいている。だから、心を確かにし、身を慎んで、努めて祈りなさい。」(ペテロ第一 4:7)

「わたしたちは一瞬も防備を緩めるわけにはいかない。…わたしたちは大いなる贖罪の日にいる。そして現在天の聖所で進められている神の民のためのキリストの聖なる働きがわたしたちの継続的な研究課題であるべきである。」(教会への証 5 巻 520)

参考文献： 各時代の大争闘下巻 210-226

日曜日

11月3日

1. 厳粛な時

a. ヘブル国家において、大祭司が至聖所で務めをなさる時を、何が特徴づけていましたか(レビ記 16:29, 30)。

「〔至聖所に入る〕幕をあげ、至聖所の神聖な場所にはいることは死を意味した。贖罪所の上には至聖所の栄光、すなわち、どんな人間でもそれをながめれば死ななければならない栄光があったからである。一年に一回、至聖所に奉仕するように定められていた日に、大祭司はおののきながら神の前に出るのであるが、そのときは香煙がその栄光をおおって彼の目に見えないようにするのであった。幕屋の庭全体が静粛となり、祭司はだれひとり祭壇に奉仕せず、礼拝者の群れは沈黙のうちに恐れおののきながら、こうべをたれ、神のあわれみを祈ったのである。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 417)

「大祭司はいつもおののきながら入った。その間、民は彼の帰りを厳粛な沈黙のうちに待った。彼らの神への真剣な願いはこのお方の祝福を求めてのものであった。憐れみの御座の前で、神は大祭司と語られた。もし彼らが至聖所にいつもより長くとどまると、民はしばしば自分たちの罪のゆえに、あるいは祭司の何らかの罪のゆえに、主の栄光によって彼が殺されたのではないかと恐れ、おののいた。」(預言の霊 1 巻 274, 275)

「教会は神の御前に、悔い改め、へりくだり、深い心の吟味によって、清めの働きを始めよう。なぜなら、わたしたちは贖罪の本体の一日永遠の結果をはらんだ厳粛な時—にいるからである。」(エレクテッド・メッセージ 2 巻 378)

2. わたしたちのための例証

- a. どのように年ごとの贖罪の奉仕の厳粛さは、天の聖所の至聖所におけるわたしたちの大祭司の現在の働きを反映していますか（コリント第一 10:11; ゼパニヤ 2:1-3）。

「われわれは、今、大いなる贖罪の日に生存している。型としての儀式においては、大祭司がイスラエルのために贖罪をなしている間、すべての者は、主の前に罪を悔い改め、心を低くすることによって、身を悩まさなければならなかった。もしそうしなければ、彼らは、民の中から絶たれるのであった。それと同様に、自分たちの名がいのちの書にとどめられることを願うものはみな、今、残り少ない恩恵期間のうちに、罪を悲しみ、真に悔い改めて、神の前に身を悩まさなければならない。われわれは、心を深く忠実に探らなければならない。多くの自称キリスト者がいっている軽薄な精神は、捨て去らねばならない。われわれを打ち負かそうとする悪癖に勝利しようとする者は、みな、はげしく戦わなければならない。準備は、一人一人がしなければならない。われわれは、団体として救われるのではない。一人の者の純潔と献身は、これらの資格を欠く他の人の埋め合わせにはならない。すべての国民が神の前で審判を受けるのであるが、しかし神は、あたかもこの地上にその人一人しかいないかのように、厳密に一人一人を審査されるのである。すべての者が調べられねばならない。そして、しみもしわもそのたぐいのものがいっさいあってはならないのである。」（各時代の大争闘下巻 224）

- b. どの救い主の訓告が、特に今日あてはまりますか（マルコ 13:33; 黙示録 3:3）。

「贖罪の働きが終結しようとするときの光景は、実に厳粛である。そこには、実に重大な意義が含まれている。審判は今、天の聖所において進行中である。長年にわたって、この働きは続けられてきた。間もなく—その時がいつかはだれも知らないが—生きている人々の番になる。……

調査審判の働きが終わるとき、すべての人の運命は、生か死かに決定されてしまっている。恩恵期間は、主が天の雲に乗って来られる少し前に終了する。…

その時が来ても、義人と悪人は、その死ぬべき肉体のままで、地上で生活をしている。天の聖所では、最終的で取り消すことのできない決定が宣告されたことも知らずに、人々は、植えたり、建てたり、飲んだり、食べたりしている。」（同上 224, 225）

3. 注意を払う

- a. 歴史上、この時にいるすべてのクリスチャンの思いに何が深く印象づけられなければならないか（コリント第一 10:12; ペテロ第一 4:7）。

「人がまず最初にキリストを受け入れ、心に確信をいだき始め、自分は救われたのだというときに、自己に依存する危険がある。彼らは自分の弱さと神の力がいつでも必要なことを忘れやすい。……常に自分に依存せずに、キリストに信頼することが唯一の安全な方法である。」（キリストの実物教訓 134, 135）

「わたしたちが各自、鏡、すなわち神の王家の律法をかかげ、その中に神ご自身のご品性の反映を見ることは良いことである。神のみ言葉の中に与えられている危険のしるしや警告を無視することがないように気をつけていよう。これらの警告に注意を払わず、品性の欠点に打ち勝たなければ、これらの欠点がそれらを持っている者に打ち勝ち、彼らは過ちに、背教に、そしてあからさまな罪に陥ることになる。最高の標準にまで高められていない思いは、そのうちかつては得ていたものを維持する力を失うようになる。」（教会への証 5 巻 537）

「完全に神のみ旨に一致することによって、わたしたちは有利な地位におかれる。そして世の習慣や慣習から断固として分離する必要性を認めるようになる。わたしたちは自分たちの標準を世の標準からほんの少し高く上げるだけであってはならない。そうではなく、境界線を決定的に明らかにすべきなのである。」（クリスチャン教育の基礎 289）

- b. 御父へ祈られたイエスの祈りは、わたしたち一人ひとりのための御父のご計画を明らかにしていますが、そこから、わたしたちはどの警告を受けるべきですか（ヨハネ 17:17）。

「もしあなたが、『わたしは救われた』という言葉にくちびるのにせて、安逸を愛する人々と座り込み、神の戒めをないがしろにしているならば、あなたは永遠に失われているのである。イエスのうちには安逸を愛し、何もしない者たちにとっては恐ろしい真理がある。イエスのうちには従順な者にとっては落ち着いた喜びに満ちた真理がある。それは聖霊の喜びである。そうであれば、あなたが神の御座から輝いているすべての光線を認めることができるために、思いと心を開くことを心に決めなさい。

無関心や不注意や娯楽愛好の時間はない。キリストは力と大いなる栄光を持って来られる。あなたは準備ができていだろうか。あなたは自分の罪を捨てたのだろうか。あなたはキリストの祈りに答えて、真理を通して聖化され始めているだろうか。」（セレクト・メッセージ 1 巻 318）

4. 症候群を避ける

- a. 教会歴史の最後の時代、ご自分が至聖所で務めをしておられるときに、悲しいことにどの態度が典型的なものであると言われましたか（黙示録 3:14-16）。

「使命者たちが警告、譴責、そして嘆願をもってつかわされてきた。神の僕たちは教会のなまぬるい状態に対して涙を流し、祈ってきた。ある者は起き上がったが、ただ後ろに倒れて自分の罪と危険に無感覚な状態に陥っただけであった。情欲、世俗、悪意、妬み、誇り、最上位のための争いが、わたしたちの教会を弱く、力のないものにしている。キリストの大使たちのある者は、自分たちの魂に苦しい重荷を負っている。なぜなら、彼らのメッセージが非常に多くの人によって根拠のない話として扱われているからである。イエスの目は、各時代を下って、ご自分が次のように言われたわたしたちの時代に留められている。『もしおまえも、この日に、平和をもたらす道を知ってさえいたら』！神の教会よ、神がご自分の律法の保管者とされた者よ、今はまだあなたの日である。しかし、信任と恩恵の日は急速に閉じようとしている。日は速やかに西に沈もうとしている。あなたが平和をもたらす道を知らないまま、日が沈んでしまうということがあり得るだろうか。『しかし、それは今おまえの目に隠されている』という取り消すことのできない宣告が下されなければならないのだろうか。危険に目覚める必要があることを、わたしはあなたに告げる。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1886 年 11 月 2 日）

- b. 主はわたしたち一人びとりに、どの真剣な嘆願をなしておられますか（黙示録 3:17-21）。

「今は真剣に、ヤコブと共に『わたしを祝福してくださらないなら、あなたを去らせません』と言いながら、神を求めるべき時である。時たまの努力をするだけでは何の役にも立たない。それはただ後ろに倒れて霊的な倦怠感と生ぬるさに陥るだけである。軽んじてきた憐れみ、注意を払わなかった訓告、正さなかった世俗的な情熱、生かさなかった特権、神聖を汚す祭壇に満ちた魂の宮—これらの過去がみな天の書物に記録されている。しかし最も厳粛な瞬間がなおわたしたちの前にある。過去の怠慢のゆえに、あなたのなす努力はもっと真剣でなければならない。

救い主はご自分の民に『熱心になって悔い改めなさい』と語られる。あなたが軽んじてきたのは牧師ではない。あなたが拒んできたのは人の警告ではない。あなたが聞くことを拒んできたのはわたしの代表者である預言者たちではない。そうではなく、あなたの贖い主、あなたの唯一の希望なのである。もしあなたが滅ぼされるとしたら、それはただあなた自身の責任である。」（同上）

5. 主の御前にひれ伏す

- a. どのようにキリストに真に従う人々は、終わりの時代にこの世にいる人々と対照的ですか(テモテ第二 3:2 (上句) ; ヤコブ 4:10)。

「わたしたちの諸教会はこの贖罪の日に主の前に自らをへりくだらせるであろうか。彼らは自分たちの品性の衣を汚し、神から自分たちを分離している罪を取り去るであろうか。現在はわたしたちのおとずれの時である。将来を、もっと都合の良い時を、掲げるべき十字架の重さが減じる時を、肉の心の傾向がより少ない努力で征服される時を見てはならない。『今日』と主の御霊が言われる、『きょう、あなたがたがみ声を聞いたなら、あなたがたの心を、かたくなにはいけない』。今日、働きに取りかかりなさい。ある日、遅すぎることにならないように。あなたが今受ける印象は、明日には同じように強くないかもしれない。サタンのわながあなたの周りを取り囲むかもしれない。燭台がその場所から取りのけられて、あなたは闇に取り残されるかもしれない。『あなたがたは、語っておられるかたを拒むことがないように、注意しなさい』。真の証人が言われる、『見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている』。神のみ言葉の中にある、あるいはこのお方の代表者である使命者たちを通して語られる一つ一つの警告、譴責、嘆願は、心の戸をたたく音である。それは入ることをお求めになるイエスのみ声である。戸をたたく音を無視するたびに、開こうとするあなたの決心はますます弱くなる。もしイエスのみ声にただちに注意を払わないならば、それは思いの中で他のたくさんの声と混じって混乱し、世のわずらいと事業が注意を奪い、確信は死滅してしまう。心はますます印象を受けなくなり、時の短さについて、また大いなる彼方の永遠について危険な無感覚状態へと陥るようになる。天来の客はあなたがこのお方を入れないように障害物を積み上げているかたわら、あなたの戸のところに立っておられる。イエスはあなたにお与えになる繁栄を通して戸をたたいておられる。このお方はあなたの忠誠を試すために、あなたに祝福を豊かにお与えになる。あなたから他の人々へあふれ出ることができるためである。あなたは自分の利己心に勝利を許してしまうのであろうか。」(レビュー・アソド・バウル 1886 年 11 月 2 日)

個人的な復習問題

1. なぜ国民は、大祭司が至聖所にいて遅くなると心配したのですか。
2. なぜ現在の贖罪の日に、わたしたちの側で厳粛さが求められているのですか。
3. この現実にもかかわらず、ほとんどの自称クリスチャンの態度はどのようなものですか。
4. わたしたちはラオデキヤの問題からどのように救出されなければなりませんか。
5. どのような方法で、イエスはわたしの心の戸をたたいてくれましたか。

かずかずの書物

「また、死んでいた者が、大いなる者も小さき者も共に、御座の前に立っているのが見えた。かずかずの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。これはいのちの書であった。死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた。」(黙示録 20:12)

「千々万々のものが大きな御座の前に集まり、そこには威厳のある様子のお方が座しておられた。いくつかの書物がお方の前にあった。そして各々の表紙には金の文字で記されており、燃える炎のように見えた。そこに『天の元帳』とあった。」(教会への証 4 巻 384)

参考文献： 教会への証 4 巻 384-387

日曜日

11月10日

1. 記された記録で裁かれる

- a. 黙示録の第一の天使は、どのように裁きを宣言していますか。また天ではこの時、何が起きますか (黙示録 14:6, 7; ダニエル 7:9, 10)。

「日々、あなたの言葉、あなたの行動、あなたの感化の記録が、天の書物につけられている。」(彼を知るために 234)

「神はすべての思想、すべての目的、すべての計画、すべての動機をご存じである。天の書物は、機会があれば犯したはずの罪を記録している。神はすべての秘密の事柄と共に、すべての行いを裁きにかけられる。…神はすべての人の品性の完全な写真を持っておられる。そしてこの写真をご自分の律法と比較される。このお方はすべての人にその生活を損なう欠点を明らかにし、悔い改めて罪から向きを変えるようにと招かれる。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1901 年 7 月 31 日)

「わたしたちは個人個人、自分の生活と品性、そして神に対する自分の態度に関して、天の書物にどのような記録がなされているかを考えよう。…わたしたちは自分の過去の生活を吟味しよう。そして、自分たちがイエスのようになろうと努めることによって、またこのお方がそのために死なれた人々を救うために働かれたように働くことによって、自分たちがイエスへの愛の証拠を与えてきたかどうかを調べよう。」(彼を掲げよ 325)

2. キリストに結びついた人々は含まれている

a. 人がキリストに仕えたと一度公言すると、天では何が起こりますか（ルカ 10:20（後句）；ピリピ 4:3（後句））。

「わたしたちが神の子となるとき、わたしたちの名が小羊の命の書に記される。そしてそれらは調査審判の時までそこに残る。そのとき、すべての個人の名が呼ばれ、彼の記録が吟味される。」（天国で 360）

「黒人の名が、白人の名の横に記されている。すべての人はキリストにあって一つである。」（エレクット・メッセージ 2 巻 342）

「あなたの名は、何か不正直なことや不義なことに正当につながることはできないほど純潔に保たれることができる。かえってすべての善人や純潔な人に尊ばれ、小羊の命の書に記され、聖天使たちの間で不死のものとされることができるのである。」（神の驚くべき恵み 111）

b. 真に聖霊に導かれることが、なぜ命に関わるのですか（ローマ 8:14）。

「神の御霊がその活気づける力をもって、すべての人間の代理人のうちになければならない。それはすべての霊的な筋肉と筋が働くことができるためである。聖霊がおられなければ、神の息がなければ、良心の活動が停止し、霊的な命を失う。霊的な命のない多くの者が教会の記録に自分たちの名を持っている。しかし、彼らは小羊の命の書には記されていない。彼らは教会には加わったが、主には結びついていない。彼らはある一連の義務を実行するには勤勉であり、生きた人だと思われるかもしれない。しかし、多くの人々は、あなたがたが生きているのは名だけで、実は死んでいるという人々のうちにいる。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1166）

「わたしたちは団体として救われるのではない。教派の名には、神の恩寵へわたしたちを入れる徳はない。わたしたちは主イエス・キリストを信じる信徒として個人個人が救われるのである。そして『あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である』。わたしたちの名はもともと霊的な教会の書物に記録されているかもしれないが、それでもキリストに属しておらず、わたしたちの名が小羊の命の書に記されていないことも可能なのである。」（ビュー・アンド・ワルド 1891 年 2 月 10 日）

「教会員は自分たちの名が教会名簿に登録されていることが自分たちを救うのではないという事実を心に留めていよう。彼らは神に是認され、恥じるところのない錬達した働き人であることを示さなければならない。日々、彼らは自分たちの品性をキリストの指示に従って建設すべきである。彼らは絶えずこのお方を信じる信仰を働かせて、このお方のうちに宿っているべきである。」（教会への証 9 巻 48）

3. 正確な記録

- a. わたしたちの名が小羊の命の書に登録されてきたかもしれませんが、その一方で他に何が極めて詳細まで記録されていますか（箴言 15:3）。

「あなたの行動はみな、あなたがどれほど秘されていると思っても、あなたの天父の前には明らかである。何一つ隠されてはおらず、何一つ覆われてはいない。あなたのすべての行動とそれを促した動機は、このお方の目の前に開かれている。このお方はあなたの言葉と思想をみな完全に知っておられる。」（教会への証 3 巻 82）

「あなたの品性は天の記録の書の中に、ちょうど芸術家の磨かれた板の上に顔が微細に再現されるように、偉大なる芸術の頭によって銀板写真で撮られていることを覚えていなさい。天のかずかずの書物はあなたの審査について何と言うであろうか。あなたは自分の品性を型なるイエス・キリストに一致させているであろうか。あなたは自分の品性の衣を洗って、それらを小羊の血で白くしているであろうか。」（性的行為、姦淫、離婚についての証 62）

「もしわたしたちが勝利者になりたければ、自分たちの心を探り、神にとって不快なものを何一つ抱いていないことを確かめなければならない。もしわたしたちが抱いているなら、ここで約束されている衣を着ることができない。もしわたしたちが白い麻布、すなわち聖徒たちの義を着て神の御前に立ちたければ、わたしたちは今、勝利の働きをしなければならない。」（ヒストリカル・スケッチ 138）

- b. この働きにおいて、何が神のご計画ですか（黙示録 11:1）。

「大いなる裁きが行われつつあり、それはしばらく続いてきた。いま主はこう言われる、宮とその中にいる者を測りなさい。あなたが自分の事業で街路を歩いているときも、神があなたを測っておられることを覚えていなさい。あなたが家庭の義務に携わっているときも、あなたが会話をしているときも、神はあなたを測っておられるのである。…

わたしたちが自分の仕事をしているとき、それをしている精神をみておられるお方がいることを覚えていなさい。わたしたちは毎日の生活に、自分たちの世の仕事や家庭の義務に救い主を持ち込まないであろうか。そのとき神の御名によってわたしたちは、不要なこと、あらゆる噂話や無益な訪問をみな後に残し、自らを生ける神の僕として捧げたいのである。」（SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 972）

4. 除去される

- a. わたしたちの名は命の書に書き込まれたかもしれませんが、なお、どの可能性もありますか(詩篇 69:28)。わたしたちに対する神の願いは何ですか(ピリピ 2:14, 15)。

「時は速やかに急いでおり、すべての行いがまもなく裁きに持ち出される。そしてわたしたちの罪かもしくは名が命の書から除去されるのである。」(神の息子むすめたち 49)

「あなたは真理を公言しながら、真理に生きないことに同意することはできない。あなたはいつも公言と一貫した生活を感嘆してきた。わたしは他の多くの人々と共にあなたの名が記されている書を示された。あなたの名のところには、黒い汚点がついていた。あなたはこれを見て言った、『それは決して消すことができない』と。イエスはご自分の傷ついたみ手を上げて、言われた。『わたしの血だけがそれを消すことができる。もしあなたがこれから後、へりくだった従順の道を選び、あなたの過去の不法を覆うのに、ただわたしの血だけにより頼むなら、わたしはあなたの不法を消し去り、あなたの罪を覆う。しかし、もしあなたが不法者の道を選ぶなら、あなたは不法者の報いを刈り取らなければならない。罪の支払う報酬は死である』。

わたしは悪天使たちがあなたを取り囲み、あなたの思いをキリストからそらし、あなたが神を正義の神として眺めさせ、ご自分に来る者をみな完全に救って下さる十字架の救い主の愛と同情と憐れみを見失わせようとしているのを見た。御使が言った、『罪を犯す者があれば、父のみもとには、わたしたちのために助け主、すなわち、義なるイエス・キリストがおられる』。(教会への証 1 巻 543, 544)

「もしわたしたちが世において真の光になりたければ、愛する同情深いキリストの精神を表さなければならない。キリストのように愛するとは、わたしたちが自己犠牲を実践しなければならないことを意味している。それはわたしたちがいつでも、どこでも無我を表さなければならないことを意味している。」(今日のわたしの生涯 80)

- b. クリスマンとして、わたしたちにはどのような特権がありますか。またこの特権にはどのような責任が伴いますか(ヨハネ第一 3:1-3)。

「あなたは『わたしの名はそこにあるでしょうか』と尋ねるかもしれない。もしあなたがキリストのご品性のように純潔で聖なるものであれば、命の書に登録されている。真理を信じる信仰だけがわたしたちを救うのではない。わたしたちはもし、いつかありのままのみ姿のキリストにお会いしたければ、キリストのようになっていなければならない。」(性的行為、姦淫、離婚についての証 134)

5. 勝利者への約束

a. 覚えの書には何がありますか (マラキ 3:16; ネヘミヤ 13:14)。

「神の覚えの書には、すべての正しい行為が永久に記されている。誘惑を退けたこと、悪に打ち勝ったこと、あわれみの言葉をかけたことなどが、忠実に記録されている。また、すべての犠牲の行為、キリストのために耐えたすべての苦しみや悲しみが記録されている」(各時代の大争闘下巻 213)

b. つまり、わたしたちは何をいつも心に留めているべきですか (黙示録 3:5; マタイ 10:32)。

「キリストを告白するためには、キリストを告白するために持っていなければならぬ。だれも自分のうちにキリストの思いと霊がなければ、真にキリストを告白することはできない。…わたしたちのくちびるがキリストを告白しながら、わたしたちの行いがこのお方を否定することは可能である。生活の中に表される御霊の実が、このお方についての告白である。もしわたしたちがキリストのためにすべてを捨ててきたなら、わたしたちの生活は慎み深くなり、わたしたちの会話は天の事柄になり、わたしたちのふるまいは責めるところのないものとなる。魂における力強い清める真理の感化力、そして生活の中に具現化されたキリストのご品性こそ、このお方を告白することである。」(教会への証 1 巻 303, 304)

「だれの名前が命の書から除去されないのでしょうか。自分という存在の力を尽くして神を愛し、自分自身のように隣人を愛してきた人々の名だけである。」(ヒストリル・スケッチ 138)

個人的な復習問題

1. 裁きにおける証拠は正しく真実であることが、どのようにわかりますか。
2. 神に対するわたしたちの責任は、どのように教会員であることを越えていきますか。
3. なぜ、そしてどのように、わたしたちはたった今、測られているのですか。
4. 失われる者と救われる者のうちで、除去されるものを比較しなさい。
5. 日々、何がわたしたちの主要な懸案事項となるべきですか。

戦い

「わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。」(エペソ 6:12)

「毎日が戦いであり、進軍である。四方をわたしたちは目に見えない敵に囲まれている。そしてわたしたちは神によって自分に与えられた恵みを通して打ち負かすか、打ち負かされるかのいずれかである。」(食事と食物への勧告 453)

参考文献： セレクテッド・メッセージ 1 巻 157-168 (英文 121-128)

日曜日

11 月 17 日

1. 目に見えない勢力

a. 神の子らに対して行われている戦いを説明しなさい (ペテロ第一 5:8, 9)。

「悪の君は、神の民が天の都に向かって進む旅のその一歩ごとに妨害をする。教会の全歴史において、改革が行なわれるときには必ず重大な障害があった。パウロの時代においてもそうであった。彼が教会を起こしたところではどこでも、信じると言いながら異端をもたらす者たちがあった。そして、もしそれを信じるならば、ついには真理に対する愛が失われてしまうのであった。ルターもまた、直接神の言葉に接したと主張して自分の考えや意見を聖書の証言以上に重要視する狂信的な人々に、非常に悩まされ苦しめられた。信仰と経験に欠けていながら、相当のうぬぼれを持ち、新奇なことを聞いたり話したりすることが好きな多くの人々は、このような新しい教師の主張に欺かれ、神がルターを動かして打ちたてようとなさったことを破壊するサタンの働きの、その手先となった。また、ウェスレー兄弟や、またその感化力と信仰とによって世界に祝福をもたらした他の人々も、過激で不健全で清められていない人々をあらゆる種類の狂信に陥れるサタンの策略に、終始悩まされたのである。」(各時代の大争闘下巻 102)

2. わたしたちの気をそらせるための策略

- a. 聖書は、どのようにわたしたちが個人個人キリストの義を必要としていることを確認していますか。またなぜ今それが、非常に重要なのですか (エゼキエル 14:20)。

「サタンは、数えきれないほど多くの策略を考え出してわれわれの心を捕え、われわれが最もよく知っていなければならない働きそのものについて、われわれに考えさせまいとしている。大欺瞞者サタンは、贖罪の犠牲と全能の仲保者を明らかにする大真理を憎んでいる。イエスと彼の真理から人々の心をそらすことに、万事がかかっていることを、彼は知っているのである。

救い主の仲保の恵みにあずかりたいと思うものは、神を畏れつつ聖潔を完成していくというその義務を、何ものにも妨げられてはならない。貴重な時間は、快楽や虚飾、または利益の追求に費やすのではなくて、真理の言葉を熱心に、祈りとともに研究するために用いなければならない。聖所と調査審判の問題は、神の民によってはっきりと理解されねばならない。すべての者は、自分たちの大いなる大祭司キリストの立場と働きについて、自分で知っている必要がある。そうしなければ、この時代にあって必要な信仰を働かせることも、神が彼らのために計画しておられる立場を占めることもできなくなる。…とするならば、審判が始まり、かずかずの書物が開かれる厳粛な時のことを、ダニエルとともに、定められた日の終わりに立って、自分たちの分を受けねばならない厳粛な時のことを、たびたび瞑想することは、すべての者にとってどんなにか重要なことであろう。」(各時代の争闘下巻 221, 222)

- b. 今日、わたしたちの焦点は、どこに合わせているべきですか (コリント第二 10:3-5; ピリピ 2:5)。敵はどのようにして、わたしたちの気をそらせようとしていますか。

「あなたは自分の思想を統制すべきである。これは簡単なことではない。あなたは注意深く厳しい努力なしには、それをなし遂げることはできない。しかし、神はこれをあなたに要求される…あなたは自分の思いを統制し、虚しい墮落した思想が自分の魂に汚点をつけるのを防ぎたいならば、自分の目、耳、そしてあなたの五感に対して忠実な番兵にならなければならない。恵みの力だけが、この最も望ましい働きをなし遂げることができる。」(教会への証 2 巻 561)

「サタンが何か重要でない事柄に思いを引き、民を何か主要でない点で分裂させ、それによって光と真理に対して彼らの心を塞ぐことができるなら、彼は悪意の勝利に狂喜する。」(伝道 154)

3. 違った種類の酔っ払い

a. わたしたちに対して敵が良く用いる策略をいくつか挙げなさい (マルコ 4:19)。

「わたしは、サタンが彼の天使たちに命じて、キリストの再臨を待望し、神の戒めをみな守っている人々を陥れるために、特にわなをしかけるのを見た。サタンは、彼の天使たちに、諸教会は眠っていると云った。サタンは、彼の力と偽りの奇跡を大に行って、彼らを捕らえておくことができるのである。彼は言った。『しかし、われわれは、安息日を守る一派を憎む。彼らは常に、われわれに反抗し、われわれの民を奪って行って、憎むべき神の戒めを守らせる。行って、土地や金銭を持っている人々をこの世の思い煩いで夢中にさせよ。もし彼らの思いを土地や金銭に執着させることができれば、われわれは、まだ彼らを捕らえることができる。彼らには言いたいことを言わせておけばよい。ただ、キリストの天国が勝利を収め、われわれの憎む真理が拡がることよりも、もっと金銭を愛するようにさせよ。彼らの前に、この世を最も魅力的に見せて、彼らがそれを愛し、偶像化するようにさせよ。われわれは、われわれが管理できるだけの財産を、みなわれわれの陣営の中に保っておかなければならない。キリストの弟子たちが、神の奉仕のために財産をささげればささげるほど、彼らはわれわれの民を奪って、われわれの王国に損害を与える。彼らが、いろいろの所で集会を開くとき、われわれは危険にさらされている。その時は、大いに警戒せよ。できれば、騒ぎと混乱を起こせ。互いの愛を失わせよ。彼らの牧師たちを失望落胆させよ。なぜなら、われわれは、彼らを憎んでいるからだ。財産を持っている人々には、それを出させないように、あらゆる口実を設けよ。できれば、金銭の問題を手中に収めて、牧師たちを欠乏と苦難に陥れよ。そうすれば、彼らの勇氣と熱心が衰えるだろう。どんな小さい領土でも戦い取れ。貪欲と地上の宝に対する愛を、彼らの品性の主な特質とせよ。このような性質が優勢である限り、救いと恵みは、あとにひきさがっている。彼らの回りにあらゆる誘惑を設けよ。そうすれば、彼らは間違いなく、われわれのものである。そして、ただ彼らを手に入れるだけでなく、彼らの憎むべき感化によって他の人々が天国に導かれることもなくなるのである。もしだれかが、ささげようとするならば、わずかしかささげないように、物惜しみする気持ちを起こさせよ』

わたしは、サタンが、彼の計画を巧みに実行するのを見た。……サタンは、常に兄弟姉妹たちの邪悪な性質を利用し、彼らの陥りやすい罪を刺激して、ある者はこちらへ、他の者はあちらへと導いていく。もし彼らが利己的で貪欲な性質であれば、サタンは、彼らのそばに立って、全力をあげて、彼らのこの陥りやすい罪にふけるように彼らを導くのである。神の恵みと真理の光は、彼らの貪欲で利己的な感情を少しは溶かしたことであろうが、もし彼らがそれに完全な勝利を得ないならば、彼らが救いの影響力のもとにないときにサタンがはいり込んできて、すべての気高くて惜しみなくささげる心を衰えさせてしまう。」(初代文集 432-434)

4. 勝利への鍵

- a. わたしたちはどのようにしてのみ、敵の戦略に対して成功することができますか(ゼカリヤ 4:6)。

「主が弱っている教会と悔い改めていない教会員に聖霊を注ぐことがおできになるように、神の民がすべての妨げを取り除くことほどサタンが恐れているものはない。もしサタンが自分の思うとおりにできるなら、世の終わりまで大小いかなる覚醒ももう決して起こることはないであろう。しかし私達は彼の策略を知っている。サタンの力に抵抗することができる。神のみ霊のための道が開かれれば、祝福がおとずれる。サタンは、天の窓を閉じて雨が地上に降るのを妨げることはできないのと同じように、神の民に下る祝福の雨を妨げることもできない。神の民が服従し、悔い改めた心で罪を告白し、それを取り除き、信仰をもって神の約束を求めるならば、悪人も悪霊も、神のみ業を妨げることはできず、神の民の集まりから神の臨在を取り去ることもできないからである。どんな誘惑であろうと、神に敵対する影響力であろうと、それがあらわれていても、隠れていても、神の民は打ち勝つことが出来る。」(セレクトド・メッセージ 1 巻 161, 162)

- b. この霊的な戦いはいつまで続きますか (マタイ 24:12, 13)。

「わたしたちは決して満足した状態で安んじ、前進するのをやめて、『わたしは救われた』と言うべきではない。この考えを抱くとき、見張り、祈り、より高い所に達するために前進して押し進むための熱心に努力する動機がなくなってしまう。聖化された舌は、キリストが来られて、神の御国の門を通るまで、これらの言葉を口にするとところを見いだされることはない。そのときには、永遠の救出のゆえに神と小羊に栄光を帰すのは、最高にふさわしいのである。」(同上 314)

「キリストの宗教がもっとも侮辱されるとき、このお方の律法がもっとも蔑まれるとき、そのときこそ、わたしたちの熱心が最も熱く、わたしたちの勇気と堅固さがもっとも断固としたものであるべきである。大部分がわたしたちを捨てるときに、真理と義を擁護して立つこと、擁護者がほとんどいないときに主の戦いを闘うこと、これがわたしたちのテストとなるであろう。このときに、わたしたちは他の人々の冷たさから暖かさを集め、他の人々の臆病から勇気を集め、彼らの裏切りから忠誠を集めなければならない。…

わたしたちの救いの俘は、彼らが携わっている戦いのためにご自分の民を強めて下さる。」(神の息子むすめたち 201)

5. 自分の身を武具で固める

- a. 今日、わたしたちはどのような種類の悔い改めが必要ですか（ルカ 6:40-42, 46-49）。

「わたしたちは贖罪の大いなる本体の日に生存している。わたしたちは個人個人が、神を求めなければならない。これは個人的な働きである。…すべての人が自分の兄弟の罪ではなく、自分自身の罪を告白しよう。」（教会への証 9 巻 218）

「天へ向かう一歩一歩がへりくだりの一歩でなければならない。」（ヒストリカル・スケッチ 139）

- b. わたしたちは何のために、極めて感謝することができますか（エペソ 6:10-17）。

「この危険な時代に、天が憐れみのうちにわたしたちに送って下さった光線を抑むことがないようにはなはだ注意すべきである。なぜなら、わたしたちが敵の考案を見分けるのはこれらによってだからである。わたしたちは毎時間、天からの光を必要としている。それは聖なるものと俗なるもの、永遠のものと一時的なものの間を識別することができるためである。もし自分たちに任されるなら、一歩ごとによりよ進むことになろう。わたしたちは世に傾き、自己否定を遠ざけ、常に目を覚まして祈る必要性を認めず、サタンの思いのままにとりこにされることであろう。…」

最終的に小羊の命の書に名が見いだされるすべての人々は、主の戦いを雄々しく闘う。彼らは誘惑とすべての悪事を識別し、捨て去るために最も熱心に労する。彼らは神の御目が自分たちの上にあること、また最も厳密な忠誠が要求されていることを感じる。彼らは忠実な番兵として通り道をふさいでおき、サタンが光の天使に変装してそばを通りすぎ、その死の働きを彼らのただ中であることがないようにする。」（今日のわたしの生涯 321）

個人的な復習問題

1. 現代の真理を今日、分かち合う際に克服すべき障害をいくつか挙げなさい。
2. わたしたちは自分たちの大敵によって気をそらされるのを、どのように避けることができますか。
3. 多くの人々が金銭的な苦闘に直面するかもしれない一つの理由は何ですか。
4. 今日霊的な戦いにおいて成功する秘訣をいくつか説明しなさい。
5. わたしたちの霊的な武具は、どのようにわたしたちがキリストを通して勝利者になるのを助けますか。

身体的な活力

「愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。」(ヨハネ第三 2)

「男女が体の取り扱いがみな思いと心の活力と純潔さに関係していることを自覚していたならば、彼らはどれほどのものを避けられたことであろう。」(主は来られる 230)

参考文献： 神の息子むすめたち 168-174

日曜日

11月24日

1. キリストの特質の一つ

- a. 人の子イエスが地上で生きられたとき、このお方は最も頻繁に何をなさいましたか(使徒行伝 10:38)。

「イエスは、公生涯の間、説教することよりも病人をなおすことに、多くの時間をささげられた。イエスの奇跡は、イエスが滅ぼすためではなく救うためにおいになったというみことばが事実であることを証明した。イエスの義はその前に行き、主の栄光はそのしんがりとなった(イザヤ書 58:8 参照)。どこへ行かれても、イエスの恵みのおとずれが先立った。イエスのお通りになったあとには、イエスからあわれみを受けた人たちが健康をよろこび、新しく与えられた力を試みていた。」(各時代の希望中巻 81)

- b. 神の子らの身体的な健康のために、何が神のご計画ですか(ヨハネ第三 2)。

「医者の頭〔イエス〕は、ギレアデの乳香を提供する用意ができておられる。このお方は、もしご自分の御名がそれによって栄光を受けるならば、医者や伝道者によって捧げられる祈りを聞いて下さる。そして苦しんでいる患者の命は延ばされるのである。」(健康に関する勧告 536)

「私は、健康改革に関して中立の態度をとっている人々が改心するよう、熱心に勧める。この光は貴重であって、主は、主の御業のいかなる面においても、責任を負っているすべての者に強く勧めるためのメッセージを、私にお与えになる。すなわち、真理が心と生活の中で首位を占めるようにせよ、というメッセージである。どんな人であっても、こうすることによってのみ、この世界で遭遇する誘惑に必ず抵抗できるのである。」(食事と食物の勧告 430)

2. 象徴としてのマナのつぼ

- a. マナの特別なつぼは、どこに保管されましたか。そしてこれは聖所のどの部分にありましたか (出エジプト記 16:33, 34; ヘブル 9:3, 4)。何のためでしたか。

「神がイスラエルの子らを支えるために天からマナをお与えになったように、この方は今、様々な場所にいるご自分の民に、肉にかわる食物を用意するにあたり、これらの国々の産物を用いる技能と知恵を与えて下さるであろう。」(教会への証 7 巻 124)

「世はあげて大食と低俗な情欲の放縦に渡されている。健康改革の光は今日神の民の前に開かれている。それは彼らが自分たちの食欲と情欲を思いのより高い力の支配下においておくべき必要性を認めるためである。彼らが頭脳の力と明晰さを持ち、真理の聖なる鎖を識別し、世にあふれている惑わしの誤謬や喜ばせるような物語から向きを変えるためである。彼らの働きは民の前に聖書の純粋な教理を提示することである。であるから、健康改革はキリストの再臨のための準備の働きにおいて、その場所を見いだすのである。」(預言の霊 2 巻 44)

- b. 神は肉食をどのようにごらんになりますか。わたしたちは贖罪の本体の日に生存していることを考えるとき、何をすべきですか (詩篇 78:17, 18; イザヤ 22:12-14, 20-22 (黙示録 3:7 参照))。

「主の来臨を待つ人々の間では、肉食は結局廃されるようになる。肉類は彼らの食事の一部を構成しなくなる。……

わたしは神が、民をその最初のご計画、すなわち死んだ動物の肉で命をつながないようにとのご計画につれ戻そうとしておられることを、幾度となく示された。神はわたしたちが人々によりよい道を教えるよう望んでおられる。……もし肉が廃されるなら、もし嗜好が肉食の方向に教育されなければ、もし果実や穀類を好むように勧められるなら、すぐに神が最初意図されたようになっていく。神の民は肉を一切用いなくなるであろう。」(家庭の教育 412)

「わたしたちの民はゆがんだ食欲にふける罪を認め、感じるであろうか。彼らは茶、コーヒー、肉食、またすべての刺激的な食物を捨て、これらの有害な放縦のために費やされていた資金を、真理を広めるために捧げるであろうか。」(教会への証 3 巻 569)

3. 力を産み出す計画

- a. 人類のための栄養について、わたしたちの創造主の元々のご計画は何ですか。これは、罪がこの地球を腐敗させた後、どのように変わりましたか（創世記 1:29; 3:18）。

「最上の食物が何であるかを知るには、人類の食事にたいする神の最初のご計画を学ばなければならない。人類を創造し、その必要を理解される神が、アダムに食物を指定された。〔創世記 1:29 引用〕。罪に呪われた地を耕して生計を立てるためにエデンを出たとき、人間は『野の草』も食べる許可を受けた。創造主によって我々のために選択された食事は穀類、果実、堅果類、および野菜で構成されている。これらの食物をできるだけ単純で自然のままに調理したものが、最も健康的で栄養に富む。」（食事と食物の勧告 73, 74）

- b. 自分たちに健康改革を適用する他に、どのような神聖な責任をわたしたちは考えるべきですか（詩篇 67:1, 2）。

「神がわたしたちの存在の創始者として認められるようになる。このお方がわたしたちに与えて下さった命は粗末に扱われるべきではない。身体的な習慣において無頓着であることは、道徳的品性の無頓着さを表す。体の健康は恵みと平静な気質における成長の発展のために重要不可欠なものとなされるべきである。」（思い、品性、個性 2 巻 405）

「セブンスデー・アドベンチストは、神がわたしたちに与えて下さった健康改革の進んだ諸原則によって、世に表されるべきである。

わたしたちが時の終わりに近づくにつれ、この民のためにさらに大きな真理が明らかにされつつある。そして神はわたしたちがどこでも人間の器官の必要に関して闇の中にいる人々が教育されるところに施設を設立し、今度は彼らが健康改革の光へ他の人々を導くことができるようにというのが神のご計画である。」（医事伝道 187）

「病人や苦しんでいる人を助けるべきである。この憐れみの働きがなされる多くの人は、命の言葉を聞いて受け入れるであろう。多くの人が信仰の祈りによって癒され、健康改革の尊い諸原則を擁護するために出て行くであろう。」（パシフィック・ユニオン・レコーダー 1902 年 11 月 6 日）

「主が今多くの魂を真理に導き入れるために働いておられないのは、改心したことのない教会員と一度は改心したが背信した人々のゆえである。これらの改心していない教会員は、新しく改心した人々に、どんな感化を及ぼすことであろう。彼らは神が担うようにとご自分の民に与えて下さったメッセージを効果のないものにするのではないだろうか。」（教会への証 6 巻 371）

4. 包括的なメッセージ

- a. 霊的な真理は、どのように身体的な健康を促進しますか(箴言 3:7, 8; 4:20-22)。
子供たちと青年たちはどのように健康になれますか。わたしたちはどのように健康を回復できますか。

「青少年が健康で明朗活発になり、筋肉と頭脳をよく発達させるためには、戸外で多くの時間過ごし、仕事とレクリエーションの調整を上手にする必要がある。

子供たちは自分の時間を使う仕事を何か持つべきである。頭脳労働と戸外での運動とを適当に行うなら、男の子たちはからだをこわすことはない。有益な労働や家事に親しむことは女の子たちにとって有益である。そして、何か戸外で仕事をするのが彼女たちの身体と健康には絶対に必要である。

手足を毎日動かしていない人たちは、いざ運動しようとすると弱さを感じることであろう。血管と筋肉が、働いて体全体を健康な活動状態に保ち、各器官にそれぞれの役割を果たさせるような状態にはないからである。手足は使う事によって強くなる。毎日適度に運動するなら、筋肉は強くなる。運動しなければたんで弱くなっていくのである。毎日戸外の空気を吸って活発な運動をすることによって、肝臓も腎臓も肺も強くなり、それぞれの務めを果たすようになる。」(家庭の教育 361, 362)

「わたしがわたしの存在の中に制定して下さった法則を犯すとき、わたしは悔い改めて改革し、自らを最も好ましい状態に、神が備えて下さった医者―新鮮な空気、清水、そして癒す力を持つ尊い日光―の下におく。

多くの方法によって用いることのできる水は、苦しみを和らげる。」(セクレット・メッセージ 2 巻 297)

「あなたはこれ以上、休まなければならないときに働くことによって主の宮を弱めたり、傷つけたりしないとの誓いに署名をしないであろうか。適正な思想を持ち、適正な言葉を語るために、あなたは脳に休息を与えなければならない。あなたは休息を得るために十分な時間を取っていない。弱った脳と疲れた神経はもしあなたがこの点において変更するなら、活性化されるのである。」(思い、品性、個性 2 巻 735)

- b. 神に信頼すること、栄養のある食物、運動、水、日光、新鮮な空気、休息の健康的な恩益を考えると、他に何を心に留めるべきですか(特に極端の時代において) (ピリピ 4:5)。

5. 恵みによって、原則のために立つ

- a. 神の健康の法則を掲げるわたしたちの義務は、どれほど遠くにまで及びますか。この義務をわたしたちはだれに対して負っていますか。それはなぜですか（コリント第一 9:24-27）。

「食べること、飲むこと、そして着ることは、犯罪になるまでに度を超して行われている。これらは終わりの時代のしるしの中にあり、キリストのまもない来臨のしるしとなっている。時間、金銭、力は主に属するものであるが、わたしたちに委ねてこられた。それらがあり余る衣服やゆがんだ食欲のための贅沢、すなわち活力を減じ、苦しみと衰退をもたらすものに浪費されている。わたしたちが自分の体を絶えず自分自身の罪深い放縱によって墮落と病気で満たし続けるならば、それを神に捧げる生きた犠牲として提示するのは不可能である。

健康を維持するように、どのように食し、飲み、着るかについて知識を得なければならぬ。病気は自然の法則を犯す結果である。わたしたちの最初の義務、すなわちわたしたちが神とわたしたち自身、そして自分たちの同胞に対して負っているものは、神の律法に従うことである。そこには健康の律法も含まれている。もしわたしたちが病気であれば、自分の友人たちに難儀な負担を負わせることになり、家族の中でも隣人に対しても自分たちの義務を行うのにふさわしくないものとする。そして早死がその結果であり、他の人たちに悲しみと苦しみをもたらすのである。わたしたちは隣人から彼らに与えることのできたはずの助けを奪うことになる。家族から彼らがわたしたちから受けたはずの慰めと助けを奪い、神がわたしたちに要求しておられる神の栄光を促進するための奉仕を神から盗むことになる。そうであれば、わたしたちは最高の意味において、神の律法の違反者ではないだろうか。」（クリスヤン節制と聖書の衛生 12）

「わたしたちの存在の律法を犯すことは、真実、十誡を犯すことと同様に罪である。どちらも神の律法を破ることである。」（同上 53）

個人的な復習問題

1. どのように命の与え主が、わたしたちの健康について心にかけておられることがわかりますか。
2. 現在の贖罪の日に、なぜ健康改革がこれほど重要なのですか。
3. 聖書のどこに、この終わりの時代にわたしたちが食べるべきものについて神のご計画がありますか。
4. 真の健康改革は、わたしたちの食物ばかりでなく他に何も含まれていますか。
5. 健康のメッセージを受け入れることは、どのように他の人々への愛を示すことになりますか。

第一安息日献金 ミッション・フィールドの文書のために

文書が真理をあらゆる国民、部族、国語、民族に現代の真理を広めるのに、極めて重要な手段であることは疑いの余地がありません。記されたメッセージはただ語るよりも大きな効果を伴い、より正確にたやすく理解される傾向があります。

しかし、キリストがそのために死なれた多くの貴重な魂は、このような文書の恩恵を受けることができません。特に彼らが制限された国家や極度の貧困に塞がれている場合がそうです。真理に満ちた一片の文書は、それに飢え渴いている多くの人々に対してこの必要に供給するための勤勉な努力がなされない限り、彼らの手の届かないところにあるのです。

貧しい国々やミッション・フィールドの文書のための第一安息日献金は、これまで集められてきました。そしてこれまでにこの価値あるみ事業のために捧げて下さった献金者の方がたに心からお礼申し上げます。皆さんの捧げ物が、幾千もの人々に真理を自分で読む機会を得させたのです。

今日の世界は常に人口が増えている広大な場所です。そして必要は以前にも増して大きくなっています。今日の文書のための献金は、かつて一度も受け取ったことがない人々のための翻訳や印刷により重要視することにも関与しています。

「すべての国民に警告のメッセージを伝えること—これがわたしたちの努力の目的となるべきである。…神のみ言葉を受けたすべての人々に、この働きをなす重荷が負わされている。街から街へ、国から国へ、彼らは救い主のまもない来臨の約束を含んだ出版物を運ばなければならない。これらの出版物はすべての言葉に翻訳されなければならない。なぜなら、全世界に福音が宣布されなければならないからである。」(ビュー・アノド・ヘルド 1905 年 2 月 9 日)

これを心に留めて、わたしたちの祈りは、神がわたしたちすべての人の心に触れてくださり、この重要な必要のために惜しみなく捧げるようにということです！

世界総会出版支部



秩序と組織

「さて兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたに勧める。みな語ること一つにして、お互の間に分争がないようにし、同じ心、同じ思いになって、堅く結び合っていてほしい。」(コリント第一 1:10)

「神はご自分の民が一つになり、彼らが目と目を合わせて、同じ思いと同じ判断になるようにと意図しておられる。これは教会における明確で鋭い生きた証がなければなし遂げられることはできない。」(教会への証 3 巻 361)

参考文献： 教会への証 3 巻 343-362

日曜日

12月1日

1. 組織だてられた思いを発達させる

- a. マノアが神に尋ねたどの質問が、わたしたちの生まれつき持っている精神的な成長を求める探究心を導くべきですか (士師記 13:8, 12)。

「心と魂はそれが食する糧によって築かれる。」(教育 136)

「若い人たちが、自分たちは知力を最高に発達させねばならないと感じるのは正しいことである。わたしたちは、神が限界を定めておられない教育に制限を設けようとは思わない。しかし、いくら学問を修得しても、それを神の誉れと人類の益のために用いるのでなければ、何の役にもたたない。知識は、最高の目的を達成するための踏み石でない限り、価値のないものである。……

心の教育は書物から得る教育よりもっと大切である。わたしたちが住むこの世の知識を獲得することはよいことですし、必要なことでさえある。しかし、もし永遠を計算に入れないなら、取りかえしのつかない失敗をすることになる。」(家庭の教育 541)

「『主はこう言われる』という言葉が、あなたのすべての教育の計画の指針であるべきである。」(同上 58)

「思いは律せられ、訓練され、教育されるべきである。なぜなら、神の子らは生来の、あるいは生まれつきの傾向にあった方法で、神に奉仕をするのではないからである。キリストの従者となった者は、行動の新しい動機が与えられ、新しい思想が生じているのを見いだす。そして新しい行動がその結果でなければならない。」(クリスチャン教育 122)

2. 永遠のための自己訓練

- a. 知識を追求する際、健全な思いを発達させるために、何に注意を払うべきですか（伝道の書 12:12）。

「もし身体的な力が、精神的な力と同等に負荷をかけられないならば、後者に負担をかけすぎることになる。人体という機械のあらゆる部分が定められた仕事をしないかぎり、精神的な力は少しの時間も最高の能力まで働かせることができない。」（クリスチャン教育 211）

「身体的な負荷と精神的な負荷を結合することをなおざりにすることによって、多くを失っている。学生たちの余暇はしばしば軽率な娯楽に占められ、それらは身体的、精神的、そして道徳的力を弱めるのである。好色な放縦という品位を下げる力や、あるいは時期尚早な交際や結婚という興奮の下で、多くの学生はそうでなければ到達し得たはずの精神的な高さにまで到達しそこなう。」（同上 36, 37）

「昼を夜に、夜を昼に変える習慣がなんと広く行き渡っていることだろう。多くの青年たちが朝ぐっすりと眠っているが、その時に彼らは早朝にさえずる小鳥と共に起きて、すべての自然が起きるときに目覚めるべきなのである。青年たちは決まった時間の就寝や起床を実行させなさい。そうすれば、彼らは健康において、精神において、霊において、気質において向上する。」（ユース・インストラクター 1893 年 9 月 7 日）

- b. わたしたちはまたどのような実践的な科学を研究すべきですか（テサロニケ第一 4:11）。

「できるかぎり、その日の間になし遂げるべきことを考えることは良いことである。あなたの注意を払うべき様々な義務のメモを作成し、それぞれの義務を行うためのしかるべき時間を取っておきなさい。すべてのことを徹底的に、整然と、手早く行いなさい。」（同上）

- c. 律せられていない思いの価値は何ですか（箴言 25:28）。

「普通の知能の人でもよく訓練を受けた人は、最高の教育と最大のタラントに恵まれながら、自制心に欠けている人よりも、多くのことをなしとげることができる。」（キリストの実物教訓 309）

3. わたしたちの知恵を増し加える

a. 無能を克服するいくつかの鍵を挙げなさい (コロサイ 3:23, 24)。

「わたしが雇った一人の女の子について、わたしは、彼女が自分の終わっていない仕事の途中で、食器が洗われていないときや、ベッドメイキングが終わっていないときに座り込んで、本や新聞を読んで自分の義務を忘れるだろうと言われた。このような方法で彼女は給料をもらっている仕事をしているべき時に何時間も過ごすのであった。このだらしない習慣のゆえに、完全な整理整頓ができていないべき時間から何時間たっても散らかったままなのであった。」(ユース・インストラクター 1893 年 9 月 7 日)

b. 思慮のある者と思慮の浅い者の間には、どのような対比がありますか (箴言 9:8; 15:31)。

「わたしが雇おうと思った別の人について。わたしは彼女が自分を雇った人に対して、自分が好きにならない限り、敬意を払わないことを知った。自分が好きになった人々は、最高にまで奉仕する。そして彼女の選ぶ友人たち、すなわち彼女のやり方へつらい、是認する人々は彼女の愛情と恩寵を受ける。しかし、わたしは説得して言った、『彼女がクリスチャンならば、たしかに勧告や助言を受けるだろう』。わたしが語った人の顔は悲しげな表情でおおわれ、彼女は次のように言った、『残念ながら、あなたは失望することになるでしょう。もしあなたが彼女にどこが間違っているかを示そうとするなら、彼女は自分の欠点を正す代わりに、自分がどうすべきか知っている最善を尽くしているとあくまで主張し、大いに傷つけられた人を装うでしょう。彼女は権威を敬いません。そして心の中で反逆心を抱き続け、言葉に表現しなかったとしても、表情にはっきりと表れます。彼女は自分自身に意見を留めてはおかず、自分の過ちを正そうとしている人々について自分が思うことをだれにでも自由に語るでしょう』。」(同上)

c. 譴責を耐えるのはたやすいことではありませんが、生涯において成長し、成功したい人はみな、何を学ばなければなりませんか (箴言 17:10; 6:23)。

「主はわたしたちに警告、勧告、譴責を送り、わたしたちが自分の過ちを第二の天性になる前に正すことができる機会を得られるようにして下さい。」(わたしたちの高い召し 160)

4. 神を尊ぶ秩序

- a. どのような方法で、キリストの体は秩序正しくあるべきですか。何の目的のためですか (コリント第一 1:10; 14:40; 12:27, 28)。

「教会は人類救済のために神がお定めになった機関である。教会は奉仕するために組織された。その使命は世界に福音を伝えることである。〔患難から栄光へ上巻1〕

- b. 歴史を振り返るとき、どのようにコラが神に定められた指導者たちに挑戦し、力強い方法で神が彼の反逆を止められたかを説明しなさい (民数記 16:1-3, 28-35)。コラは民を欺くために、どのようにへつらいを用いましたか。

「コラとその仲間は、自信のうちに祭司職を希望し、あえて香炉まで手にしてモーセと共に幕屋の扉のところに立った。コラは自ら欺かれるまで妬みと反逆心を抱いていた。そして彼は本当に会衆が義なる者であり、モーセが圧政的な統治者であるかのように考えた。民は自分たちの反逆的な指導者たちのへつらいを受け、自分たちの問題はみなモーセ、すなわち絶えず自分たちの罪を思い起こさせてきた者によって生じたものであると信じるまでに導かれていた。彼らはもしコラが自分たちを導き、励まし、そしていつも自分たちの失敗を思い起こさせる代わりに、自分たちの義なる行いを考えていることができるなら、彼らは非常に平和で繁栄した旅をすることになり、疑う余地なく、荒野をあちこちら導く代わりに彼らを約束の地へ導き入れるだろうと思った。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1880 年 9 月 9 日)

- c. 神はどのようにモーセの譴責の働きを支持なさいましたか (民数記 17:1-10)。

「この素晴らしい杖は、民に過去を思い起こさせ、彼らにつぶやかせないように、そして二度と祭司職がだれに正当に属するのかを疑問視することがないように、頻繁に彼らに示すために保存された。イスラエルの子らが、自分たちがしたように不正にモーセとアロンを責めたことにおいて、自分たちが完全に誤っていたことを自覚した後は、自分たちの過去の反逆を真の光のうちに見て、恐れたのであった。」(霊的賜物 4a 巻 35, 36)

5. 一般的な罪を譴責する

- a. 天の契約の箱の中にあるどの品が、神の組織だてられた譴責の務めを象徴していますか（ヘブル 9:3, 4; 8:1, 2）。これは今日、どのようにわたしたちにあてはまりますか。

「ヘブル人は、主の指示と制限に服従することを喜ばなかった。彼らは、拘束をきらい、譴責を甘受しなかった。こういうわけで、彼らはモーセにつぶやいたのである。もし、彼らが欲することを自由にすることができたならば、指導者に対する不平は少なかったことであろう。教会の全歴史を通じて、神のしもべたちはこの同じ精神に当面したのである。」（人類のあけぼの上巻 489）

- b. 主に平安のうちにお会いする準備を神の民にさせるために、牧会のどの特徴が必要とされていますか（テモテ第二 4:1-5; テトス 2:11-15）。

「わたしたちは自分たちの危険が、少しもヘブル人の危険より少ないとは思えない。むしろさらに大きい。嫉妬とつぶやきに対する誘惑があるであろう。そして昔のイスラエルについて記録されているように反逆があらわされることであろう。罪と過ちへの譴責に反対して立ち上がる精神はいつも存在するであろう。しかし、そのために、譴責の声が沈黙するのであるか。もしそうであれば、わたしたちは民の過ちと蔓延している罪に触れることを恐れるこの国の様々な教派の状況と全く変わらないことになる。

神が義の牧師として取り置かれた人々には、民の罪を譴責するという厳粛な責任が負わされている。」（教会への証 3 巻 358, 359）

個人的な復習問題

1. わたしたちの思いがどのように発達させられなければならないかについて、覚えているべき点をいくつか挙げなさい。
2. なぜ知的な探究においてさえ、節制が必要なのですか。
3. 克服すべき誤った仕事の習慣をいくつか挙げなさい。
4. どのような方法において、コラの反逆は、今日繰り返されていますか。
5. この時に、牧師や指導者には、どの厳粛な義務がおかれていますか。

霊的な活力

「それは、キリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえらされたように、わたしたちもまた、新しいいのちに生きるためである。」(ローマ 6:4 後句)

「わたしたちは自分を変えることはできない。けれども、わたしたちには選択の力がある。そして、自分が将来、何になるかは、自分が決めるのである。」(キリストの実物教訓 33)

参考文献： キリストへの道 115 - 131

日曜日

12月8日

1. 神のご品性の象徴

- a. 神はモーセに、マナのつぼやアロンの杖より前に、何を契約の箱の中に入れるよう指示なさいましたか (申命記 10:1-5)。
- b. 律法はどこから来ましたか。その目的は何ですか (イザヤ 51:4)。

「石の板の上に神の指によって記された言葉は、神の民に関する神のみ旨を非常に完全に表しているの、だれ一人間違える必要はない。」(セレクトド・メッセージ 1 巻 225)

「生ける神は、ご自分の聖なる律法のうちに、ご自分のご品性の写しをお与えになった。世がかつて知る中で最も偉大な教師は、イエス・キリストである。そしてこのお方がご自分を信じるすべての人々に到達するようにと与えて下さった標準は何であろうか。『それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となきなさい』(マタイ 5:48)。神がご自分の行動の高い領域で完全であられるように、人は自分の人間の領域で完全になることができる。クリスチャン品性の理想は、キリストに似ていることである。わたしたちの前には継続的な前進の道が開かれている。わたしたちには到達すべき目標があり、得るべき標準がある。その標準にはあらゆる良いもの、純潔なもの、気高く、高められたものが含まれている。継続的な奮闘と、前に上に品性の完全へ向かう絶えざる進展があるべきである。」(天国で 141)

2. このお方のご品性を反映する

- a. 石の板の上と天において以外に（ヘブル 9:3, 4; 8:1, 2）、どこに十誡が記されますか。だれによってですか（ヘブル 8:10; コリント第二 3:3）。
- b. 自分たちの心の中に神の律法を持つ人々の経験はどのようなものになりますか（詩篇 37:31; 40:8）。彼らの言葉はどのように変わりますか。

「憐れみのうちに、神は不義な者たちを悔い改めに導こうとしておられる。従順な者は主の戒めを喜ぶ。このお方はご自分の律法を彼らの思いに入れ、彼らの心に書き記される。彼らの言葉は内に宿られる救い主によって促されるような言葉となる。彼らは愛によって働き、魂をあらゆるサタンのほのめかしの汚れから清める信仰を持っている。彼らの心は神を慕い求める。彼らは改心によって、このお方の憐れみと善とをずっと考えることを愛する。なぜなら、自分たちにとって、このお方は万人に抜きん出て麗しいからである。彼らは天、すなわち自分たちが養子縁組された国の言葉を学ぶ。」（上を仰いで 297）

- c. 神の恵みの下に生きるとは、どういう意味ですか（ローマ 6:4, 10-18; 8:1）。

「〔キリスト〕を自分の個人的な救い主として受け入れる人々は、恵みのうちに成長し、このお方の力のうちに神の律法に従うことができるようになる。」（サイン・オブ・ザ・タイムズ 1897年2月11日）

「すべての真の服従は心から生れる。キリストにとってはそれは心の働きであった。もしわれわれが承知するなら、キリストはわれわれの思いやこころざしと一体となり、われわれの心と思いとを一つにしてご自分のみこころに一致させてくださるので、キリストに従うときに、われわれは自分自身の衝動を実行しているにすぎない。意志は洗練され、きよめられて、主のご用をなすことに最高のよろこびをみいだす。神を知ることはわれわれの特権であるが、このように神を知るときに、われわれの生活は変わることはない服従の生活となる。キリストのご品性の真価を認めることによって、神とまじわることによって、罪はわれわれにとって憎むべきものとなる。」（各時代の希望下巻 150）

「わたしたちに勝利する力を下さるのは神である。このお方のみ声を聞いて、このお方の戒めに従う人々は義なる品性を形成することができる。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 943）

3. わたしたちのつながりの実

a. わたしたちはどのようにキリストから神聖な力を受けますか (ヨハネ 15:1-4)。

「主の側に自分の立場を置くすべての人は、まことのぶどうの木の枝として栄養を受け、ぶどうによって同じ実を結ぶように活性化される。彼らは自分たちの能力にしたがって信心のために自分を訓練し、新しい命に生きることによって神と協力する。すなわちそれは、日ごとの神に対する悔い改めと、わたしたちの主イエス・キリストに対する信仰である。」(ビュー・アンド・ヘラルド 1897年2月23日)

b. 上にある聖所の中にイエスを眺めるとき、わたしたちの経験はどうなりますか。これはまた教会関係にどう関わりますか (エペソ 2:4-6, 10; ヘブル 10:23-25)。

「キリストに奉仕する人生の第一歩はまず教会につながることでなければならない。キリストに忠誠をつくす者には教会の義務を忠実に果たすことが要求される。」(教育 317, 318)

「多岐にわたる品性の種類にもかかわらず、わたしたちは自分たちの信仰の告白を通して教会の中へ導き入れられる。キリストが教会の頭であられる。そしてもしその名が教会に記録されている人々が目に見えない頭なるイエスに属していないならば、実を結ばないぶどうの木の枝のようなものであり、取り去られるのである。もしある人が本当に実り多い枝であるなら、彼は実を結ぶことによってそれを表し、キリストへの絶対的な忠誠の証拠を示す。彼は神との霊的なつながりを持つ。信仰と愛が品性の金を構成しており、いつも主の側に立って働き、キリストの体の肢体と一致し、調和するのである。

名、地位、そして富は、神の測りの中で少しの重みも加えない。教会に加わっても何の誉れともならない男女が加わることが許されている。しかし、どんなに貧しくても、地位、部族、あるいは国籍が何であっても、もし神の恵みによって救いもたらされ、それが心に働いてきたという証拠があるなら、すべての人はその信仰の告白に従って心から受け入れられるべきである。…

このキリストを信じる信仰は行いによって表される。それは神の聖霊の効果的な働きを通して品性の変化を生み出す。…魂の悔悟はキリストの恵みを受けてきたすべての人の経験の特徴づける。」(ビュー・アンド・ヘラルド 1897年2月23日)

4. 隊列に加わる

- a. ご自分の教会のためのキリストの目標を説明しなさい (エペソ 5:1, 2, 27; テトス 2:13, 14)。

「わたしたちはだれ一人として自分の品性にしみやしわが一つでもある間は、神の印を受けることはない。わたしたちの品性の欠点を癒し、魂の宮からすべての汚れを清めることは、わたしたちに任されている。」(教会への証 5 巻 214)

- b. 何が教会員を一致させますか (ペテロ第一 4:8-11; ヨハネ第一 1:7)。

「キリストは一致を求めておられる。しかし、誤った習慣において一致するようには求めておられない。天の神は、純潔な、心を高め、気高くする真理と、偽りの間違った教理との間に明確な境界線を引いておられる。彼は罪と悔い改めない心を、その正しい名によって呼ばれる。」(レクテッド・メッセージ 1 巻 233, 234)

- c. 神がわたしたちをお清めになる方法をいくつか述べなさい (箴言 27:17; イザヤ 58:6-10)。

「世は同情を必要とし、神の民の祈りと援助を必要とし、キリストに従う人々の生活の中にキリストを見る必要がある一方、神の民は等しく自分たちの同情を引き出し、自分たちの祈りの力を与え、そして自分たちのうちに神聖な型に従った品性に似た品性を発達させる機会を必要としている。…」

神がわたしたちのうちに貧しい人や不幸な人、病人や苦しんでいる人をおかれるのは、それらの機会を提供するためである。彼らはキリストが教会に残された遺産であり、キリストが彼らを顧みられるように、彼らが顧みられなければならない。この方法によって、神はかすを取り除き、金を清めるのである。…」

わたしたちのうちに貧しい人や苦しんでいる人をおくことによって、主はわたしたちの心の中に何があるかをわたしたちに明らかにするために試しておられる。」(教会への証 6 巻 261)

「良い働きは、わたしたちに犠牲を払わせる。しかし、訓練を与えるのは、まさにこの犠牲においてである。これらの義務はわたしたちを生来の感情や傾向との戦いに導き入れ、それらを果たすことによって、わたしたちは自分の品性の好ましくない特質に対する勝利に次ぐ勝利を得るのである。」(同上 262, 263)

5. わたしたちの献身の試金石

- a. わたしたちが真に神を愛しているかどうかを、何が表しますか（ヨハネ第一 3:14, 15, 18; 4:20, 21）。

「聖霊の働きによって魂が清められるということは、キリストの性質を人間のなかに植えつけることである。福音を信じることは、生活の中にキリストが宿ること—すなわち、生きた活動的な原則が宿ることである。それは、品性により行ないとなってあらわれるキリストの恵みである。…

愛は信心の基礎である。たとえ、口でなんと言おうと、もし、兄弟に対する無我の愛をもたないならば、神に対する純粋の愛をもっていない。しかし、他人を愛そうと努めることによって、この精神を得ることはできない。必要なのは、心の中にキリストの愛が宿ることである。自己がキリストの中にとけこむとき、愛は自然にわいて出る。他を助け、祝福しようとする気持ちが常に内からわき出て、天からの光が心にあふれ、顔に表わされるとき、クリスチャンの品性が完成の域に達するのである。

キリストが住まれる心に愛が欠乏することはない。神がまずわたしたちを愛してくださったために、わたしたちも神を愛するのであるならば、わたしたちは、キリストが命をおすてになってまで愛されたすべての人びとを愛するようになる。」（キリストの実物教訓 361, 362）

「健全なクリスチャンとは、内に形づくられたキリスト、栄光の望みを持っている人である。彼は真理、純潔、そして聖潔を愛し、霊的な活力を表し、神の言葉に対する愛を持ち、み言葉を知っている人々との交わりを求める。それは彼らに神が伝達してこられたすべての光線をとらえることができるためである。それがキリストを表し、このお方を魂にとってもっと尊いものとするのである。健全な信仰を持っている人は、キリストが魂の命であること、すなわちこのお方が永遠の命へと湧き出る水の泉として自分のうちにおられることを見いだす。そして彼は魂のすべての力を自分の主の従順に同化させることを喜ぶのである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1894 年 12 月 11 日）

個人的な復習問題

1. なぜ十誡は契約の箱の中に保管されなければならなかったのですか。
2. 主がわたしたちのうちにごらんになることを切望しておられる種類の従順を述べなさい。
3. キリストの弟子であることが現れるいくつかの方法は何ですか。
4. なぜ純潔がわたしたちにとって個人的にもまた団体としても重要なのですか。
5. わたしはどのようにしてキリストと他の人々のためにより深い愛を発達させることができますか。

「燃えるたいまつのように」

「シオンの義が朝日の輝きのようにあらわれいで、エルサレムの救が燃えるたいまつになるまで、わたしはシオンのために黙せず、エルサレムのために休まない。」(イザヤ 62:1)

「他の人々に光を与えることを拒むことによって、わたしたちのうちにある光が消えてしまうことがないようにしよう。」(パシフィック・ユニオン・レコーダー 1908 年 2 月 20 日)

参考文献： 教会への証 5 巻 157-162, 307, 308, 385-389

日曜日

12月15日

1. わたしたちの優先順位に目覚める

a. 今日、すべての信徒の目的は、何にならなければなりませんか (イザヤ 62:1, 2)。

「闇の中にいる人々の上に自分たちの光を輝かせるのを拒むことほど、偉大な光を受けてきた人々がその光を評価していないという大きな証拠はない。」(ビュー・アット・ヘラルド 1895 年 7 月 16 日)

「もし…救われた状態にあるならば、あなたがたはみな救われていない人々の危険な状態を感じることであろう。あなたがたのうちに大きな変化が起こらないならば、多くの人のくちびるから、次のように言う言葉を聞く日が来る。『わたしはこれらのクリスチャンたちと交わってきた。それなのに、わたしの危険について一言もわたしに告げなかった。彼らは一度もわたしに警告しなかった。わたしはもしわたしが失われる危険があるなら、彼らはわたしが目覚めて自分の失われた状態を認めるまでは昼も夜も休まないだろうと思った。今、わたしは失われている。もしわたしが彼らの立場にいて、同じような状況にいるのを見ていたら、わたしは彼らに自分たちの状態を気づかせるまで、そして彼らに唯一救うことのおできになるお方を指し示すまで休まなかったであろう。』」(教会への証 2 巻 181, 182)

「怠け者に、彼らの何もしない立場を理解させ、目覚めるよう導くために、何を言うことができるだろう。ああ、シオンが目覚めて、自分の美しい衣を着れば良いのだが。兄弟姉妹がた、教会員として、わたしたちの分を忠実に果たそうではないか。…

神はすべての人に働きを与えてこられた。だれ一人として奉仕を免除されているものはない。」(パシフィック・ユニオン・レコーダー 1908 年 2 月 20 日)

2. 道徳的な闇の時代に

- a. どの叫びが強くわたしたちすべての者にまでこだましていますか（イザヤ 21:11（後句）、12）。

「すべてのものが下からの激しい活動によってかきたてられているように見えた。興奮が絶えず起こっていた。宴会、売り買いが、諸教会の中に持ち込まれている。見張り人が叫ぶ、『朝が来ます、夜もまた来ます』。夜は蔓延している誤謬、聖書の誤った解釈と適用を象徴している。あらゆる種類の惑わしが今や持ち込まれつつある。神のみ言葉の率直な真理が人の作った大量の理論で覆われている。死に至る誤謬が、すべての人がひざまずかなければならない真理として提示されている。真の信心の単純さは伝統の下に埋葬されている。」（パイプル・エコー 1897 年 2 月 1 日）

「世界において大いなる働きがなされなければならない。そしてわたしたちはこれをなし遂げるためにどんな努力を払っているであろうか。民はあまりにも説教を受けてきた。しかし、彼らはキリストがそのために死なれた人々のためにどのように働くべきかを教えられてきただろうか。一連の働きが考案され、各自その働きの中に参加する必要性を認めるようなやり方で彼らの前におかれてきたであろうか。

説かれてきたすべての説教が、自己否定の働き人たちの多くを成長させてこなかったことは明らかである。この主題は、最も深刻な結果を伴うものとして考慮されるべきである。永遠のためのわたしたちの将来は危険にさらされている。」（教会への証 6 巻 431）

「わたしたちは確かにこの地上歴史の終わりの時代に生存している。わたしたちはもしこの時代に不可欠な霊的な成長を経験したければ、多くの時間を自分たちの霊的な利益のために捧げる必要がある。わたしたちは決定的な改革をなさなければならない。み声が次のように告げる、見張り人は目覚めて、確かなラッパの音を出す必要がある。朝が来る、夜もまた来る。目覚めよ、わが見張り人たちよ。今真理を提示するのが聞かれているべき声が沈黙している。魂はその罪のうちに滅びつつある。そして牧師や医者や教師たちは眠っている。見張り人たちよ、起きよ！」（ハ・ソフィック・ユニオン・レコーダー 1908 年 2 月 20 日）

- b. 主は、どのようにご自分の恵みを通して、わたしたちの諸教会を変えたいと熱望しておられますか（イザヤ 60:1, 2）。

「諸教会は真理の光を他の人々に発散するのに自分たちのタラントを用いてこなかったためにしばみつつある。主人からの教訓として、すべての人が他の人々を益するために自分の光を実際的に用いることができるように注意深い指導が与えられるべきである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1893 年 2 月 28 日）

3. 約束された結果

- a. 真理を他の人々に分かち与えるために、聖霊を吹き込まれることを切望するすべての人に、神はどの保証を提供しておられますか（箴言 1:23; 詩篇 81:10）。

「真理の光を受けてきたすべての人々は、他の人々にその光を輝かせる厳粛な義務の下におかれている。各自は、その慎ましい領域において、主人のために何かすることができる。彼は神のみ事業を前進させるために膨大な献金を捧げることはできないかもしれない。しかし、彼は従順な心の自発的で快活な奉仕を捧げることはできる。すべての人が説教者になることはできない。すべての人が主の軍勢の大將になることはできない。しかし、すべての人が、自分たちの救いの将のご命令に謙遜な従順のうちに従う忠実な個人となることはできる。彼らは希望と勇気の言葉で自分の仲間たちを元気づけ、そうすることによって、自分たちとを暗やみから驚くべきみ光に導き入れて下さったお方の讃美を表すのである。神はすべての人が自分の捧げることのできる最上の奉仕をなすよう要求しておられる。もし彼らがこのお方のために慎ましい用事しかできないのであれば、それらが無視されるべきではない。」（レ・ユー・アンド・ヘルト 1886 年 8 月 24 日）

「教会員は魂に奉仕することにおける自分たちの成功は、キリストの模範に従う自分たちの自己否定と忠実さに比例することを教えられる必要がある。」（パシフィック・ユニオン・レビュー 1908 年 2 月 20 日）

- b. 光を分かち合うための忠実な努力から、どのような結果が生まれますか（ゼカリヤ 8:20-23）。

「神は社会において慎ましい地位にいる人々、すなわち長い間真理の光を考えながら、そのうちに向上したり前進したりすることを拒むことによって光の明るい光線に対して無感覚になってはいない人々を動かされるであろう。そのような多くの人々が、神の御霊によって他の人々に光を携えずにはいられず、あちらこちらへ急いでいるのが見られるようになるであろう。真理、神のみ言葉は彼らの骨のうちに火のようであり、彼らを闇の中にいる人々を照らしたいとの燃えるような願いで満たす。多くの人々は無学な人々の間においてさえ、今や主のみ言葉を宣布する。子供たちが御霊にかり立てられて出て行き、天からのメッセージを宣布する。御霊はその促しに明け渡すすべての人々に注がれる。そして彼らは人のあらゆる機構、その拘束していた規則や用心深い方法を振り払い、御霊の力強さをもって真理を宣布するようになる。多大な群衆が信仰を受け入れ、主の軍勢に加わる。」（レ・ユー・アンド・ヘルト 1895 年 7 月 23 日）

4. 反対のただ中での勇氣

- a. 神のために証することにおいて、嘲られ、冷笑されたときのエレミヤの経験を述べなさい。また彼はどのように自分の恐れを克服しましたか（エレミヤ 20:7-11）。

「譴責のうちに語られる神のみ言葉に対する敵意、憎しみ、そして反対のゆえに、他の多くの神の使命者たちは、エレミヤが決心したように決心してきた。しかし、この主の預言者は、自分の決心の後にどうしたであろうか。彼がしようとすればするほど、沈黙していることができなかった。彼が民の集会に来るや否や、主の御霊の方が、彼よりも強いことを見いだすのであった。…

この世代に、神の僕たちが悪を行う人々を譴責し、誤った諸原則を持ち込む人々を責めるために主の言葉を語るとき、エレミヤと同じような経験をしてきたのではなかったか。公正と裁きをゆがめるための一連の行為が持ち込まれるとき、主のみ言葉が譴責のうちに語られなければならない。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 卷 1156）

- b. わたしたちは預言者や使徒たちが、神のメッセージをあのように極めて大きい力をもって分かち与えた方法から、何を学ぶべきですか（ミカ 3:8; コリント第一 2:4, 5）。

「神のみ言葉が初期の時代に、『霊と力との証明によつて神の牧師たちによって説かれた。人々の心は福音の宣布にかきたてられた。なぜ真理の宣教が今、このようにほとんど民を動かさないのであろうか。神がご自分のみ事業における働き人たちにご自分の祝福を与えるのに、この時代は弟子たちの時代ほど気が進まないからであろうか。

わたしたちが世に伝えるべき警告は、彼らにとって命から命へ至るか、あるいは死から死に至る香りとならなければならない。そして主はこの恐るべき厳粛なメッセージを宣布するためにご自分の僕たちを送り出しながら、ご自分の聖霊を彼らから差し控えられるようなことがあるだろうか。弱く、誤りの多い人間が、神からの特別な恵みと力なしにあえて生ける者と死せるものの間に立って、永遠の命の言葉を語るのであろうか。わたしたちの主は恵みにおいて富み、力において強大であられる。このお方は信仰のうちにご自分の下へ来るすべての者の上にこれらの賜物を豊かにお授けになる。このお方は、親が良い贈りものを自分の子供たちに与えるよりももっとご自分に求める者に聖霊を与えたいと望んでおられる。この時代のために尊く重要な真理が救うのに力がないその理由は、わたしたちが信仰のうちに働かないからである。」（教会への証 5 卷 157, 158）

5. 惜しめない恵み深さを刈り取る

- a. 奇跡的に大漁をお与えになったイエスのご目的は何でしたか。魂のためのわたしたちの働きにおいて、この経験から何を学ぶことができますか (ルカ 5:4-10)。

「自分のための気遣いばかりしてはならない。あなたと同じように尊い人々が幾千と生きているのである。そうであれば、なぜあなたは自分の上着を身に巻き付けて、岸に沿って進んでいるのか。義務と有用さに目覚めよ！もしあなたが深みへこぎ出し、自分の網を下ろすならば、主人が魚を中に集めて、あなたは神の力強い働きを見るであろう。…」

民に自分自身のうちに光を持ち、牧師たちに頼らないよう教えなさい。彼らは自分の助け手としてキリストを得て、互いに助け合うよう自らを教育すべきである。そうすることによって牧師たちは自由に新しい伝道地へ入っていけるようになる。」(ヒトリル・スケッチ 139)

「わたしたちの民は大きな光を持ってきた。それでいながら、わたしたちの牧師の力は諸教会のために、教師になっているべき人々を教え、『世の光』となっているべき人々を照らすために多く使い果たされている。」(伝道 382)

- b. わたしたちの創造主はどのように、恵み深くわたしたち一人ひとりの上に授けて下さった個性を用いて、ご自分の働きをなすことがおできになりますか (ヨブ 34:11; 37:7)。

「一タラントの人々は、二タラントや五タラントの人々が接触することのできない階級の人々に手を差し伸べることができる。大なる者も小なる者も同様に渇いた魂に命の水を運ぶ選ばれた器である。…神がご自分の望む者を通して働かれるようにしましょう。メッセージは進まなければならない。」(教会への証 5 巻 462)

「わが兄弟姉妹がた、自分の計画を研究しなさい。あなたの隣人や交わっている人々に語ったり、現代の真理を含んだ書物から何かを読んだりするすべての機会をつかみなさい。キリストがそれほど大きな犠牲を払われた魂の救いを、あなたが第一に重要なものとみなしていることを示しなさい。」(同上 9 巻 129)

個人的な復習問題

1. 何について、多くの失われた魂は遅すぎる時になって正当につぶやきますか。
2. 単なる説教を越えて、教会の義務の中心は何ですか。
3. 現代の真理をもってこの世を照らす神のご計画を説明しなさい。
4. エレミヤによって教えられた模範は、どのように報われますか。
5. どのような方法において、わたしは牧師に重荷を負わせないように自らを引き離すことができますか。

責められるところのない者として印される

「どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめて下さるように。また、あなたがたの霊と心とからだを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるように。あなたがたを召されたかたは真実であられるから、このことをして下さるであろう。」(テサロニケ第一 5:23, 24)

「わたしたちはだれ一人として自分の品性にしみやしわが一つでもある間は、神の印を受けることはない。」(教会への証 5 巻 214)

参考文献： セレクテッド・メッセージ 2 巻 367-375;
 教会への証 5 巻 207-216

日曜日

12月22日

1. 救いに至る重要不可欠な経験
 - a. 罪に対する勝利を得るすべての人々のために、キリストは何を約束なさいましたか(黙示録 3:5)。
 - b. この勝利を経験するために、わたしたちは何に自分たちの愛情をおこななければなりませんか(コロサイ 3:1-3)。

「キリストは勝利者について、『わたしは、その名をいのちの書から消すようなことを、決してしない』と言われる。一度、神に献身したすべての人々の名は命の書に記されている。そして彼らの品性は今このお方の前に再審査を通過している。神の御使たちは、道徳的な価値を計っている。彼らは今生きている人々の名が命の書に残るかどうかを調べるために、彼らのうちに品性の発達を見守っている。恩恵期間が与えられているのは、わたしたちが品性の衣を洗い、それらを小羊の血で白くするためである。だれがこの働きをしているであろうか。だれが罪と利己心から自らを分離しているであろうか。『あなたがたはすでに死んだものであ』ると使徒パウロはキリストの真の従者について述べている。『あなたがたのいのちは、キリストと共に神のうちに隠されているのである』。わたしたちが神に生きるとき、自己に死んでいる。神がわたしたちを助けて下さって、自己に死ぬように。だれの名が命の書から除去されずにいるだろうか。ただ自分の存在のすべての力を尽くして神を愛し、隣人を自分自身のように愛してきた者たちの名だけである。」(ヒストリカル・スケッチ 138)

2. この時代のための働き

- a. 贖罪の日の間、力強い四人の天使たちによってなされている極めて重大な働きを挙げなさい（黙示録 7:1-4）。

「四人の力強い天使たちは、神のしもべたちがその額に印されるまで、この地の勢力を引きとめている。世界の諸国は争闘を熱望している。しかし、彼らは天使たちによって抑制されている。これらの抑制力が取り除かれるとき、悩みと苦悩の日がおとずれるのである。」（主は来られる 257）

「恐ろしい争闘がわたしたちの前にある。わたしたちは全能の神の大いなる日の戦いに近づいている。それまで支配してきたものが解き放たれる。憐れみの天使は御座から降りて、サタンの支配に世をまかせるために自分の翼をたたんでいる。地の支配者と主権者は天の神に敵対して反乱を起している。彼らはこのお方に仕える人々に対する憎しみに満たされており、まもなく、非常に速やかに、善と悪の間の最後の争闘が行われる。地は戦場—最終的な争闘と最終的な勝利の場面—となる。

彼らの手が緩められつつあり、また四方の風が吹き荒れようとしているときに、イエスの憐れみ深い目がまだ印されていない残りの民をご覧になり、御父に向かってご自分の両手を挙げて、このお方に彼らのためにご自分が血を流されたのだと嘆願なさる。そのとき、もう一人の天使が任務を受けて四人の天使のもとへ速やかに飛んでいき、神のしもべらがその額に生ける神の印をもって印されるまで引き止めているように命じるのである。」（今日のわたしの生涯 308）

- b. わたしたち一人ひとりのための来たるべき戦いの結果は、何で決まりますか（ローマ 8:6）。肉の心あるいは思いの証拠は何ですか（コリント第一 3:3, 4）。

「四方の風は、神のしもべらの額に印が押されるまでまだ引き止められている。そのとき、地上の勢力は自分たちの力を最後の争闘のために終結させる。わたしたちはどれほど注意深く残り少ない恩恵期間を活用すべきであろう！

だらしのない思想に渡されてきた思いは変化する必要がある。…思想は神に集中しなければならない。今は肉の心の生来の傾向に勝利するための熱心な努力を払うべき時である。」（主は来られる 243）

3. 厳粛な任務

- a. 印する働きが、どのように黙示録 14 章の第三天使と関わっているかを説明しなさい。完全に聖化される厳粛な重要性を何が示していますか (黙示録 14:9-12; テサロニケ第一 5:23, 24)。

「わたしは、…第三天使を見た。わたしと一緒にいた天使は言った。『彼の任務は、恐るべき任務である。彼は、麦を天の倉に入れるために、麦を毒麦からよりわけて印をおし、たばねる。われわれは、こうしたことに全身全霊をかたむけ、すべての注意を向けなければならない。』」(初代文集 221)

「悩みの時に、聖所に大祭司がおられないで神のみ前に生きるためにはどのような状態でなければならないかを悟っていない人が多くあるのを見た。生ける神の印を受け、悩みの時に保護される人々は、イエスのかたちを完全に反映していなければならない。

わたしは、多くの人々が、必要な準備をおろそかにしていながら、主の日に立ち得て神のみ前に生きるにふさわしいものとなるために、『慰めの時』と『春の雨』(後の雨)とを待っているのを見た。ああ、わたしは、なんと多くの人々が、悩みの時に、避け所がないのを見たことだろう。彼らは必要な準備を怠った。だから、彼らは、聖なる神の前に生きるのに適したものと彼らをするためにすべての者が持たなければならない慰めを、受けることができなかった。預言者に切り刻まれることを拒み、すべての真理に従って、魂を清めることをしない者、そして、自分たちは、実際よりは、はるかによい状態にあると思いついでいる人々は、災害がくだるときになって、自分たちが建物に合わせて切り刻まれ、四角にされなければならないことを悟るのである。しかし、その時には、そうする時間もなく、天の父の前で彼らの執り成しをしてくださる仲保者もおられない。」(同上 149)

- b. 神は特別に魂の収穫をご自分の御国のために準備なさるために、どの最終的な祝福を授けて下さいますか (ヨエル 2:23; ゼカリヤ 10:1)。

「イスラエルの罪はあらかじめ裁きに持ち出されていなければならない。すべての罪が聖所で告白されなければならない。そのとき働きは前進する。それが今、なされなければならない。…

四方の天使が手を離すとき、キリストはご自分の御国を確立なさる。だれも自分のなし得ることをすべてした者でなければ後の雨を受けることはない。キリストがわたしたちを助けて下さる。すべての人は、神の恵みによって、イエスの血を通して勝利になることができる。」(スパルディング・アンド・マーガソンのコレクション 2a 巻 2, 3)

4. 後の雨のための条件

a. 後の雨を受けるためには何が必要とされていますか (イザヤ 43:25; 44:22)。

「ある人々の名は命の書から除去されるであろう。だれの名であろうか。各自は注意深く自分が信仰のうちにいるかどうかを調べるために自己を吟味しよう。永遠のために確かな働きをなすのに勤勉になろう。イエスは勝利者の名をご自分の父の御前で、そして聖天使たちの前で告白すると言われる。」(ヒストリカル・スケッチ 139)

「世と、肉と、悪魔に打ち勝つ人々は、生ける神の印を受ける恵まれた人々となるであろう。手が清くなく、心が純潔でない者は、生ける神の印を受けることがない。罪を計画し、それを行う者は、そばを通り過ぎられてしまう。神の御前における態度において、大いなる贖罪の本体の日に自分の罪を悔い改めて告白している人々の立場を占めている人々だけが、認められ、神の保護にふさわしい者として印をつけられる。」(牧師への証 445)

「神のための特別な働きは、自己と利己心が克服されるまで、なし遂げられることはできない。」(ヒストリカル・スケッチ 139)

「どのような代価を払うことになっても、あらゆる点に達し、すべてのテストに耐え、勝利した者は、真の証人の勧告に注意を払ってきた。そして彼らは後の雨を受けて、こうして昇天にふさわしい者とされるのである。」(教会への証 1 巻 187)

「わたしたちは自分たちの心に神の御霊の深い働きを望んでいる。それはわたしたち自身が白い衣を確保できるためばかりでなく、他の人々の名が命の書に記され、決して除去されることがないように、彼らを感化することができるためである。」(ヒストリカル・スケッチ 140)

b. わたしたちは後の雨について、何を悟るべきですか (ホセア 6:3; 使徒行伝 3:19)。

「福音の開始にあたって秋の雨(前の雨)となって成就した預言は、その終局において、春の雨(後の雨)となって再び成就するのである。これが、使徒ペテロが待望した『慰め〔原文では refreshing (活気づけ、回復の意)〕の時』である。彼は次のように言った。『だから、〔調査審判の間に〕自分の罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて本心に立ちかえりなさい。それは、主のみ前から慰めの時がきて、……イエスを、神がつかわして下さるためである』(使徒行伝 3:19, 20)。

神のしもべたちは、きよい献身の喜びに顔を輝かせ、天からのメッセージを伝えるために、ここかしこ奔走する全世界の幾千の声によって、警告が発せられる。」(各時代の大争闘下巻 382 (88 年版) [] 内は原文まま)

5. 最終的な勝利

- a. イエスが天でご自分の務めをなし遂げられるとき、勝利者たちのために、どのような励ましとなる宣言をなさいますか（黙示録 22:11（後句））。
- b. わたしたちは小羊の血を通して勝利を得るすべての人々になされた素晴らしい約束を、どのように実現することができますか（黙示録 22:14; イザヤ 26:2-4）。

「神と小羊の御座の周りに忠実な働き人たちが集まるときに授けられる報いは栄光に満ちたものである。…彼らは御座の前に立ち、愛されるお方のうちに受け入れられる。彼らのすべての罪はすでに除去され、彼らのすべての不義は取り去られたのである。今、彼らは神の御座の曇りない栄光を見ることができる。彼らはキリストと共にその苦難にあずかり、贖いの計画においてこのお方と共に働く働き人であった。そして彼らは神の御国に救われた魂を見る喜びにおいて、このお方にあずかる者となるのである。永遠にわたってそこで神を讃美する。

わたしの兄弟、姉妹よ、わたしはあなたが天の雲に乗ってキリストが来られる時のために準備するよう訴える。日々、世の愛をあなたの心から捨て去りなさい。経験によって、キリストと交わりを持つという意味が何であるかを知りなさい。裁きのために準備しなさい。キリストが信じるすべての者に崇められるために来られるときに、平安のうちにこのお方にお会いする人々のうちに、あなたがいるためである。その日には贖われた者たちは御父と御子の栄光のうちに輝き出る。御使たちは、自分たちの金の堅琴を取り、王とその戦利品—小羊の血で洗われ、白くされた人々—を歓迎するであろう。勝利の歌が鳴り響き、全天を満たす。キリストが勝利されたのだ。このお方は、ご自分が贖った者たち、すなわちこのお方の苦難と犠牲の使命が無駄ではなかったことの証人たちを伴って天の宮廷に入られる。」（教会への証 9 巻 285, 286）

個人的な復習問題

1. キリストの助けを得て、なぜわたしたちは品性の欠点に打ち勝たなければならないのですか。
2. なぜイエスは、四人の力強い天使に風を引き止めているようお命じになったのですか。
3. 多くの人々は、後の雨、つまり慰めの時について、何を誤解していますか。
4. もしわたしたちの罪が除去されたら、神はわたしたちにどの祝福された任務を委ねることがおできになりますか。
5. わたしが最終的な勝利者のうちの一人であることを確かにするために、今日、わたしは何をすることができますか。

第一安息日献金



10月5日

ネバダ州ラスベガスの礼拝堂の
ために (アメリカ合衆国)
(4 ページ参照)

11月2日

南ミンダナオ島会議の本部
のために
(25 ページ参照)



12月7日

ミッション・フィールドの文書のた
めに (51 ページ参照)